

「福井県県民ホール」の指定管理者候補者の選定について

福井県県民ホールの指定管理者の申請の募集について、福井県県民ホール指定管理者選定委員会の審査結果を踏まえ、指定管理者候補者を次のとおり選定いたしました。

- 1 団体名 ニュー・フェイス日本管財グループ（代表企業：㈱ニュー・フェイス）
- 2 所在地 福井市問屋町三丁目214番地
- 3 指定期間 令和7年4月1日から令和12年3月31日までの5年間

4 選定理由

当該団体は、福井県県民ホール指定管理者選定委員会の審査において、福井県県民ホールの設置および管理に関する条例で定める指定の基準に適合しており、かつ最も優れたものとして評価されました。

特に、これまで福井県県民ホールの管理を行ってきた実績や施設の稼働率向上のための企画提案が評価され、県内外の同様の施設の管理運営実績を有していることや財務状況が良好であるなど安定した運営が可能である点において、指定管理者にふさわしいと認められることから、当該団体を指定管理者候補者に選定します。

5 申請団体数

2団体

① ニュー・フェイス日本管財グループ

代表企業：㈱ニュー・フェイス

- ・㈱ニュー・フェイス 代表取締役 平野 暁（福井県福井市問屋町3丁目214番地）
- ・日本管財㈱ 代表取締役社長 福田 慎太郎（東京都中央区日本橋2丁目1番10号）

② まちづくり福井㈱ 代表取締役社長 松尾 大輔（福井県福井市中央1-2-1）

6 選定委員会での審査結果

① 選定委員会委員

清水 葉子	福井県立大学 経済学部 教授
河瀬 康博	公益社団法人 福井県観光連盟 事務局長
三好 勝	北陸税理士会 顧問
山崎 富美恵	福井県婦人福祉協議会 会長
細井 圭子	福井県総務部財産活用課

② 審査結果

審査基準	配点	申請団体名	
		ニュー・フェイス日本管財グループ	まちづくり福井㈱
1 県民の平等な利用を確保できるものであること ・ 県民の平等利用の確保	適／不適	適	適
2 県民ホールの効用を最大限に発揮するものであること ・ 県民ホールの設置目的と事業内容との適合性 ・ 利用者のサービス向上のための取組内容 ・ 利用料金の設定水準、料金に関する提案内容 ・ 利用者増、利用促進のための取組内容 ・ 利用者の意見の反映、業務改善への取組内容 ・ 地域の文化および産業の振興を図るための取組内容 ・ その他、新たな企画提案の有無、内容 ・ 提案した計画の内容の妥当性、実現可能性、持続性	200	132	113
3 管理の経費の縮減が図られるものであること ・ 管理運営に係る県の支出経費 ・ 提案した提示額の妥当性、実現可能性、持続性	150	120	114
※ 団体の申請額（５年間）	(上限額) 160,605 千円	160,000 千円	149,000 千円
4 県民ホールの管理を安定して行う能力を有するものであること ・ 人的能力（管理運営組織、人員配置等）の内容 ・ 物的能力（収支計画、資金調達、保険対応等）の内容 ・ 申請者の実績（同種の施設の管理運営実績等） ・ 申請者の安定性、信頼性 （財務、提携団体、危機管理能力等） ・ 業務全般に対する取組み姿勢 ・ 提案した内容の妥当性、実現可能性、持続性	150	112	87
総合得点（満点500）	500	364	314

※ 点数は5名の選定委員の採点の合計点です。

③ 講評

○審査基準①については、各団体とも適と評価された。

○審査基準②については、ニュー・フェイス日本管財グループにおいては、施設の稼働率の向上に関する提案が評価された。まちづくり福井㈱においては、福井駅周辺施設との連携に関する提案が評価された一方、県民ホール自体の稼働率維持向上に関する提案が十分でないと評価された。

○審査基準③については、ニュー・フェイス日本管財グループ、まちづくり福井㈱の順で評価された。

○審査基準④については、各団体とも県内の同種施設の運営実績等が評価された。ニュー・フェイス日本管財グループが管理運営体制の具体性や財務状況等の安定性について高く評価された。

○以上を総合的に評価した結果、ニュー・フェイス日本管財グループは、指定管理者の指定の基準を満たしているものと評価された。



令和 6 年 10月10 日

福井県知事 様

申請者 主たる事務所の所在地

福井市問屋町3丁目214番
株式会社ニュー・フ

名称および代表者の氏名

代表取締役 平 野

指定管理者指定申請書

福井県県民ホールの管理に関する業務を行いたいのので、福井県県民ホールの設置および管理に関する条例第4条第2項の規定により、下記の書類を添えて、申請します。

記

- 1 福井県県民ホールの管理の業務に関する事業計画書（規則様式第1号）
- 2 定款もしくは寄附行為および登記事項証明書またはこれらに準ずる書類
- 3 申請の日の属する事業年度の前事業年度における財産目録、貸借対照表、その他財務の状況を明らかにする書類（申請の日の属する事業年度または前事業年度に設立された法人その他の団体にあつては、その設立時における財産目録）
- 4 申請の日の属する事業年度および翌事業年度における事業計画書および収支予算書
- 5 役員の氏名、住所および略歴を記載した書類
- 6 福井県県民ホールの管理の業務を行う組織および運営に関する事項を記載した書類
- 7 現に行っている業務の概要を記載した書類
- 8 福井県県民ホールの設置および管理に関する条例第5条各号に掲げる基準に適合していることを確認するために知事が必要と認める書類

福井県県民ホール指定管理者申請に係るグループ構成員表

グループの名称 ニュー・フェイス日本管財グループ
(構成員数 2 団体)

代表団体	所在地 福井県福井市問屋町 3 丁目 214 番地 名 称 株式会社ニュー・フェイス 代表者名 平野 暁 【担当】 氏名：平野 暁 所属： 役 職：代表取締役社長 電話：0776-22-6511 F A X：0776-27-4855 E-mail
構成員	所在地 兵庫県西宮市六湛寺町 9 番 16 号 名 称 日本管財株式会社 代表者名 福田 慎太郎 【担当】 氏名：村田 直也 所属：福井事業所 役 職：所長 電話：0776-29-2510 F A X：0776-29-2530 E-mail
構成員	所在地 名 称 代表者名 【担当】 氏名： 所属： 役 職： 電話： F A X： E-mail：

※記入欄が不足する場合は、本様式に準じて追加、作成してください。
グループ協定書もあわせて提出して下さい。

福井県県民ホールの管理の業務に関する

事業計画書



ニュー・フェイス日本管財グループ

株式会社ニュー・フェイス
日本管財株式会社



目次

はじめに	P. 1
1 団体の概要	P. 2
2 管理運営基本方針	
(1) 施設の管理運営の方針	P. 4
(2) 県民の平等な利用を確保するための方針・取組み	P. 7
(3) 地域の文化および産業の振興を図るための方針・取組み	P. 9
3 管理運営業務計画	
(1) 利用者のサービス向上のための取組み	P. 14
(2) 利用料金の設定水準、料金に関する提案	P. 25
(3) 利用者増、利用促進のための取組み	P. 26
(4) 利用者の意見の反映、業務改善への取組み	P. 30
(5) 新たな企画提案（自主事業）について	P. 33
4 施設の管理経費の縮減に関する事項	
(1) 利用料金収入の確保、経費削減についての取組み	P. 37
(2) 令和7年度～令和11年度までの収支計画（全体）	P. 39
5 管理を安定して行う人的および物的能力に関する事項	
(1) 人的能力（管理運営組織、人員配置等）	P. 40
(2) 物的能力	P. 47
(3) 申請者の実績	P. 48
(4) 申請者の安定性、信頼性	P. 50
(5) 業務全般に対する取組み姿勢	P. 52
6 令和7年度～令和11年度までの収支計画	
・収支計画の根拠	P. 53
・収支計画（自主事業）	P. 54





はじめに

私どもニュー・フェイス日本管財グループは現在、福井県県民ホール（以下、県民ホール）の指定管理者として管理運営させていただいております。

その実績と経験、プラス熱意と誠意をもって県民ホールを利用される皆様のお声を十分に尊重し引き続き取り組んで参りたいと考えております。

どうぞ当グループの想いをお汲み取りいただき、継続して取り組める機会をお与えくださいますようお願い申し上げます。



～実績と経験を十分に活かして、県民のためのホール運営を行います～

これまで築いてきた信頼を継続し続けるため、発展させることが私たちの責任です。

当グループは、平成27年4月から県民ホールの指定管理を受託し、「安全・安心」「快適」「公平・平等」「地域」「環境」を基本方針に掲げて取り組んでまいりました。

ただ、これまでの1社でアオッサを管理運営していた頃と異なり、現在は各施設の管理主体が異なる状態のため、アオッサ全体を利用したい方にとっては利便性が損なわれた状態と言えます。しかしその中であって当グループはアオッサ各施設の経験者を擁しており、各施設の特長を理解しお客様へのご案内もスムーズに行うことができます。

県民ホールの運営にあたっては、これからも利用者様のお役に立つことを最優先に考えサービス向上と施設の発展につなげてまいります。

私どもが県民ホールの指定管理者としてこれまで築いてきた実績と信頼をもって、県民ホールがこれまで以上に県民の皆様から愛される施設であり続けるよう発展に向けて挑戦していくことが、当グループの使命と考えます。





1.団体の概要

団体の概要

株式会社ニュー・フェイス

団体の種別	財団法人 社団法人 株式会社 有限会社 NPO 法人 その他 ()			
団体名	株式会社ニュー・フェイス			
所在地	福井県福井市問屋町3丁目214			
代表者名	平野 暁			
電話番号	0776-22-6511			
FAX 番号	0776-27-4855			
メールアドレス	aki-h@new-face.jp			
設立年月日	昭和56年2月28日			
資本金(基本財産)	1000万円			
従業員数	令和6年8月1日現在			10人
主な事業内容 (必要に応じ別紙)	広告代理業 舞台運営・管理・操作業			
同種の施設の 管理運営業務の実績 (必要に応じ別紙)	名称	所在地	業務内容	運営期間
	敦賀市民文化センター	敦賀市	舞台運営管理 操作業務	平成9年4月～現在
	プラザ萬象	敦賀市	舞台運営管理 操作業務	平成12年4月～現在
	福井市にぎわい交流施設	福井市	舞台運営管理 操作業務	平成28年4月～現在
	福井市文化会館	福井市	舞台運営管理 操作業務	昭和61年4月～平成22年
現に指定管理者の申請を 行っている施設 (申請予定を含む) (必要に応じ別紙)	名称	所在地	業務内容	運営期間
提携団体名	(複数の団体により構成されたグループにより申請する場合に記入すること) 日本管財株式会社			





団体の概要

日本管財株式会社

団体の種別	財団法人 社団法人 <u>株式会社</u> 有限会社 NPO 法人 その他 ()																				
団体名	日本管財株式会社																				
所在地	兵庫県西宮市六湛寺町9番16号																				
代表者名	福田 慎太郎																				
電話番号	0798-35-2200																				
FAX 番号	0798-35-2250																				
メールアドレス																					
設立年月日	昭和 40 年 10 月 27 日																				
資本金 (基本財産)	30 億円																				
従業員数	令和 6 年 3 月 31 日現在 7,714 人																				
主な事業内容 (必要に応じ別紙)	施設管理業を主たる事業とする ①建物及び関連設備に関するメンテナンス業務 ②警備の請負及び警備の保障に関する業務 ③不動産の管理、賃貸、売買、仲介等に関する業務 ④宅地建物取引業およびそのコンサルティング業務 ⑤各種工事の施工ならびに請負業務 ⑥その他建物に付帯する一切の業務 ⑦ホール及び貸会議室等運営・企画業務 ⑧催事、広告、印刷物、音声、映像の企画、編集、製作、管理業務																				
同種の施設の管理運営業務の実績 (必要に応じ別紙)	<table><thead><tr><th>名称</th><th>所在地</th><th>業務内容</th><th>運営期間</th></tr></thead><tbody><tr><td colspan="4">本「事業計画書」49 頁参照</td></tr></tbody></table>	名称	所在地	業務内容	運営期間	本「事業計画書」49 頁参照															
名称	所在地	業務内容	運営期間																		
本「事業計画書」49 頁参照																					
現に指定管理者の申請を行っている施設 (申請予定を含む) (必要に応じ別紙)	<table><thead><tr><th>名称</th><th>所在地</th><th>業務内容</th><th>運営期間</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	名称	所在地	業務内容	運営期間																
名称	所在地	業務内容	運営期間																		
提携団体名	(複数の団体により構成されたグループにより申請する場合に記入すること) 株式会社ニュー・フェイス																				





(1) 施設の管理運営の方針



1. 施設を管理する上での理念

以前のアオッサの管理運営は[ビル全体管理][地域交流プラザ][県民ホール]などを一つの会社が行っていたため、各施設間の連携が図られていました。しかし現在は、これら施設の管理主体が別々となってしまったがゆえに、利用者様にとっての利便性が損なわれた状態であるといえます。しかしその中であって当グループ職員はアオッサ各施設の経験者で構成されており、アオッサ全体や各施設の特長を理解しお客様へのご案内もスムーズに行うことができます。また、県民ホールの管理運営においては、主催者様や利用者様からも非常に高い評価を頂戴しており、リピーター増加にも貢献しております。

県民ホールは、福井県の文化振興の中核施設としての役割を担っております。この役割を果たすため、これまでの管理経験・ノウハウを最大限に発揮し、文化の振興と文化による創造的な地域の活性化を目指します。「**県民相互間の交流の場を提供することにより地域の文化および産業の振興を図り、もって県民の福祉の向上に寄与する。**」という県民ホールの設置目的を果たすことを使命とし、次の通り管理運営に対する理念、基本方針を提案します。

管理運営の根幹には、次の11の理念を掲げます。

- 01) 施設の設置目的を果たす管理運営
- 02) 安全・安心の確保
- 03) 快適な施設環境の提供
- 04) 公平・平等な管理運営
- 05) 高品質な維持管理の実現
- 06) 利用者の声を反映した管理運営
- 07) 利用者視点に立ったサービスの向上
- 08) コスト削減を可能にする管理運営
- 09) 住民との協働による管理運営
- 10) 地域に貢献する管理運営
- 11) 環境に配慮した管理運営





(1) 施設の管理運営の方針



2. 施設を管理する上での基本方針

県民ホールの設置目的を十分理解し、福井県の政策に基づき、4つの方針に沿って施設の管理運営を実施します。

1) 芸術文化向上

- ・地域での芸術文化に関する裾野を広げるため、地元で活動を行っている方々のサポートをします。
- ・芸術文化に触れる機会の少ない方々にも利用していただけるよう幅広い広報活動に取り組みます。多くの方々に利用していただくことで「賑わい」を生み出します。
- ・将来の福井の芸術文化を担う若者を積極的に支援します。自主事業を単なる鑑賞機会の提供にせず県民との交流を積極的に図ります。

2) 公平・公正な管理運営

- ・指定管理者は行政の代行という自覚を持ち、公共施設の在り方を認識し、条例規則に基づいた公平・公正な運営を行います。
- ・平等利用機会の確保・促進を行い、県民ホールをより開かれた施設にします。

3) ホールの施設管理

- ・当グループは、安全かつ快適に施設をご利用いただくために、ファシリティマネジメントの考え方を取り入れ、指定管理者として県民ホールを総合的に企画・管理・活用してまいりました。
- ・県民ホールは来期に竣工から19年目を迎えます。施設の長寿命化に寄与する維持管理や修繕を実施することで、県民の財産である県民ホールを次世代へと引継ぎます。

4) 地域・団体との連携

- ・県民ホールの管理運営を通して、私たちの基本方針を実現するためには地元企業・地元文化団体との連携が必要不可欠だと考えます。
また、福井県文化協議会等の文化団体や地元マスメディアに支援を頂き県民ホールに賑わいを生み出します。





(1) 施設の管理運営の方針



3. コンセプト（基本方針に基づく事業コンセプト）

「創る」「育てる」「観る」「支える」の4つの柱をコンセプトとし、これまで以上に地域の創造力を高め、芸能文化による心豊かなまちづくりにつながる取組みを行います。
支える土台をしっかりと作ることによって安心して向上していく事が可能になります。



創る

～芸術文化創造の発信～

独自性、創造性の高い公演を企画・実施し、福井県から高レベルの芸術文化を発信します。

育てる

～未来を担う人財の育成～

芸術の力を活用し、地域の未来を担う人財の育成に取り組めます。

観る

～暮らしを彩る多彩な公演～

ホールの特性を活かして幅広いラインナップを充実し、県民に良質な芸術に触れる機会を提供します。

支える

～県民の芸術活動の支援～

貸館事業においては、質の高い利用サービスで県民の芸術活動を支援します。また、県民参加型の事業の実施を通じた支援も行います。

以上のコンセプトに基づく取組みを行い、芸術文化をはじめ、さまざまな主体（県・市町村・企業・大学・地域づくり団体等）と交流・連携・協働しながら、創造的な地域づくり、まちづくりに繋がる事業を実施します。





(2) 県民の平等な利用を確保するための方針・取組み

条例規則に基づいた公正・公平な運営

誰もが
心地よく
使えるために

Point 『利用してよかった』と思って頂くこと

誰でも利用できる施設だからこそ利用の制限を遵守し
快適に利用いただけるよう配慮します。

指定管理者は行政の代行という自覚を持ち、公共施設のあり方を正しく認識し、条例規則に基づいた公正・公平な運営を行います。平等利用機会の確保・促進を行い、県民ホールをより開かれた施設にすることを目指します。

Point 01

利用者様にとって公平・公正な施設の利用機会を提供するため、また、すべての方が、等しく利用の機会を受けられる仕組みを構築します。

Point 02

多くの方に施設貸出、鑑賞機会を提供できるよう、広報誌等の媒体を積極的に利用すると共にホームページ上で情報を公開します。また、地元メディア・SNSを活用し、幅広く情報の提供ができるよう配慮します。



Point 03

真摯なコミュニケーションで利用者様への説明責任を果たします。条例に基づいて利用をお断りする場合など、運営者の意向を伝える際は、「なぜそうなのか」「どのような経緯か」など、プロセスを明らかにする説明を怠りません。納得を引き出せる説明を心がけ、お客様に不公平感が残らない接遇を行います。

Point 04

平等利用の重要性をスタッフ一人ひとりが理解し利用者様と向き合えるよう教育研修を行います。





(2) 県民の平等な利用を確保するための方針・取組み

平等利用の確保

- ・ 地方自治法第244条に規定する「公の施設」であることを認識、正当な理由なく県民の利用を拒みまた不当な差別的扱いを禁止する同法の趣旨に従うと共に、他の関係法令も遵守し県民の平等利用を確保します。高齢者や障害をお持ちの方に対するホスピタリティも意識した運営に取り組みます。
- ・ 公共サービス基本法第6条「公共サービスの実施に従事するものの責務」に則り「指定管理者制度の概要」「福井県県民ホールの設置目的」についての研修を実施し、スタッフに公共施設で勤務するということの自覚と責任について意識付けを行います。

会場予約に関する平等な利用の確保

- ・ 先着順を原則
予約は1年前予約で先着順を原則とします。毎月初日に整理券を配布し受付を行います。前日の夜には全国大会等の予約状況をお知らせします。
- ・ HPによる告知
予約状況をHPを利用して事前に告知します。
また、電話等による問い合わせにも対応いたします。
- ・ 連続使用の制限
より多くの利用者様が平等に利用できるよう、5日以上連続使用を原則禁止とします。ただし全国規模の催事などの特別に開催を認められた催事については例外とし、一般の利用者様へはその旨をHP等で告知します。



会場使用に関する平等な利用の確保

- ・ 催事の種類の問わず、様々な利用者様（学会・各種団体・企業・学校等）の平等な利用を確保します。
- ・ 施設の利用に関して、発表・練習・制作など、幅広い活動を行うために施設を提供し支援します。
- ・ 人権を尊重し、プライバシーに配慮した対応をします。
あらゆる利用者様に対して正当な理由なく差別的な対応はしません。
- ・ 高齢者や障がい者の立場に立ったサービスを提供します。
- ・ 施設の利用方法をHPを利用して広く告知します。また、パンフレットを作成して施設内等に設置しHPを閲覧できない場合にも対応します。



パンフレット設置



(3) 地域の文化および産業の振興を図るための方針・取組み

ア アオッサの賑わい創出への取組み

- ・開館から19年を迎える県民ホールですが、ホールをご利用になられたお客様から「アオッサ」という建物の存在は知っていたが、中にこんなホールがあったなんて知らなかった、というご意見をいただく事があります。
- ・「県民ホール」という施設を広く県民に知っていただき、気軽に立ち寄れる場所として皆様にご利用いただけるように業務に取り組んでまいります。また「県民ホール」だけでなく、「ハピリン」などの周辺施設との連携により、周辺地域一帯への集客を図り、地元地域への貢献につなげてまいります。

これまでの活動（継続）

アトリウムスペースをアオッサミニギャラリーとして活用

期間：7月1日～7月31日
内容：油彩画展「秋まに描いて」



期間：8月7日～8月20日
内容：アート作品展 Vol. 2



8階アトリウムの一部をアオッサミニギャラリーと名付け、**無料の展示スペースとして開放**しました。七宝焼・押し花アート・トールペイント・パッチワーク・能面・写真・絵画等いろいろなジャンルの発表の場を提供すると共に、**展示を通してこれまでアオッサへ来る機会がなかった方の来館を促すことに貢献**しています。

SNSを利用した告知

“X”（旧Twitter）などのSNSを使ってイベント情報発信を密に行っています。またイベントだけでなく、**駅周辺の情報やトピックなどは利用者様からも好評**です。



アオッサ周辺施設との連携



- ・周辺地区（手寄・旭）との意見交換
 - ・ケヤキフェスタの事業支援
- 今後はステージイベントを県民ホールで行う等の提案をし、周辺地域の行事に参加します。



(3) 地域の文化および産業の振興を図るための方針・取組み

これからの活動（新規）

主催者と来館者の意見をイベントに反映させながら新たな活動も企画・提案し、アオッサならびに県民ホールの一層の周知を図ります。

アオッサ寿大学 リニューアル開講



シニア世代の健康増進と生きがいづくりをテーマに、アオッサ6階「福井市地域交流プラザ」にて開講しておりました“アオッサ寿大学”は、コロナ禍を経て、今般令和6年5月より県民ホールにてリニューアルし再開の運びとなりました。約4年ぶりの開講にもかかわらず、**100名以上の皆様にご参加頂いております**。今後も定期的に開講していく予定です。

リニューアル開講

福井県立大学「まちなかキャンパス」との連携

アオッサ1階に 福井県立大学 文系新学部「地域政策学部（仮称）」が駅周辺物件と合わせ「まちなかキャンパス」として令和8年4月度に開設予定となっています。県民ホールとしては、大きな会場を駆使した発表会や大人数授業などでの利用を想定し、予約等での便宜を図ることはもちろん、会場費の減免等、費用面での協力も可能です。**若い学生の方にも県民ホールのよさを認識してもらおうきっかけになればと考えます。**



アオッサの乱



過去何度か開催したイベント“アオッサの乱”は、**来館者数が1,000名を越え**、スタンディングでの爆発的な歓声と踊りで、アオッサビル全体が大きく揺れるほどの盛大な盛り上がりを見せました。**北陸新幹線開業後の福井駅前活性化の起爆剤**として、この超人気イベントを利用しない手はありません。今後も民間企画会社とのタイアップにより、この大規模イベントを定期的に開催できないか検討中です。



(3) 地域の文化および産業の振興を図るための方針・取組み

イ 地域の文化および産業の振興に関する情報収集および提供

地域の文化の振興を図るための取組み

文化振興のためには、地元地域を拠点として活動している各団体との連携が必要不可欠と考えています。県内で活動する文化団体の連携組織である福井県文化協議会をはじめとする各団体との連携・協力により、県民ホールを有効に活用できるように支援・管理運営することで関連情報の収集と発信を行います。

また、芸術文化活動を行う団体等に対する補助金・助成金制度に関する情報提供も行い、県内を活動の本拠地としている団体等を支援します。

令和6年度アートプロジェクト支援事業助成金 採択団体一覧（抜粋） ※福井県HPより

事業名	事業概要	団体名
アカペラで福井を元気に！	福井県内で楽器を使わない音楽「アカペラ」を普及させるため、駅前でのアカペライベントや学校や福祉施設へ出向いての出張アカペラを披露する。	福井アカペラシティ実行委員会
北前船の刺し子「さっくり」 ファッションショー「男の晴れ着」	古き伝統「刺し子・さっくり」の魅力を発信し、福井の貴重な衣の文化を現代に通ずるものとして表現するファッションショーを開催する。	ふくいモダン刺し子・麻の葉会
心からコンサートプロジェクト	「日常に音楽を」というコンセプトのもと、上中駅等の身近な場所での無料ミニコンサートや出張型演奏などを開催する。	心からコンサート実行委員会
ふくいの神楽・伝統芸能まつり事業	福井県の各地域の伝統ある神楽等を福井駅前のステージ上で披露し映像化する。夏祭りの同日に開催することで、県内外の多くの方に魅力を発信する。	福井商工会議所青年部（うちの福まち委員会）

地域の産業の振興を図るための取組み

県内各企業や経済団体などの総会・研修会・シンポジウム・記念式典などのさまざまな利用を支援することにより関連情報の収集と発信を行います。また、各種学会の運営にも協力・支援していくことで情報の収集と発信を行います。



以下の方法で外部に発信することで、地域の文化および産業の振興へ寄与します。

県内の各施設

- ・全国公立文化施設協会加盟施設との連携により、県内17市町の文化情報を共有します。また、各会館・ホール、コンベンション施設との連携を図り、情報の共有と発信ができる体制づくりを行います。

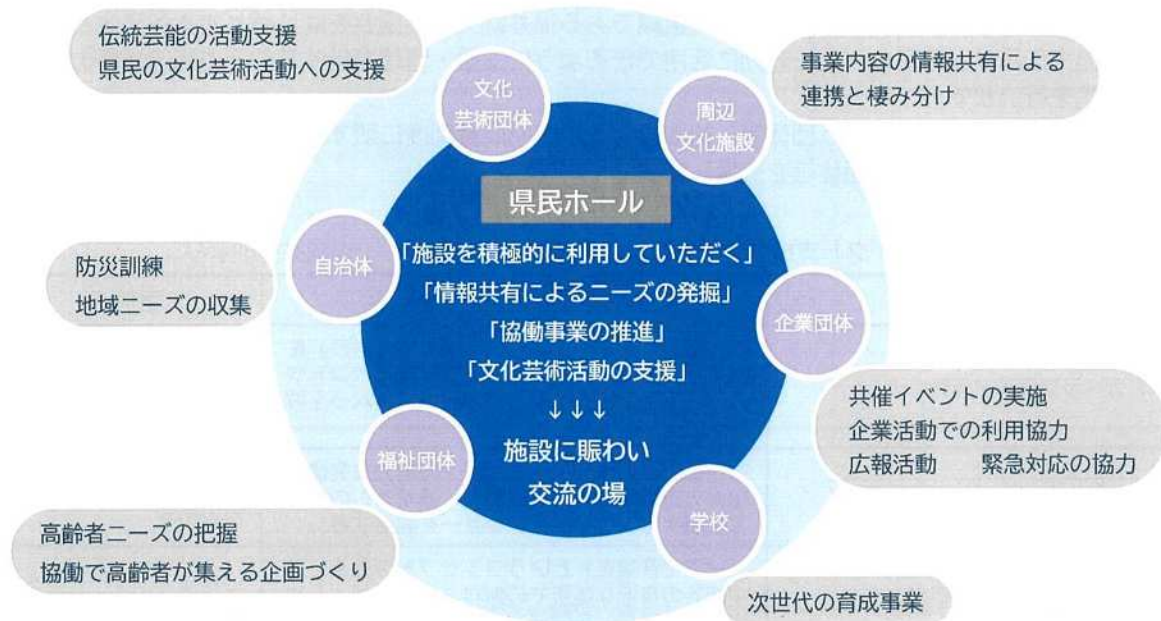
県内の各メディア・マスコミ・媒体

- ・県内の各メディア・マスコミ・媒体と連携して関連情報の共有と発信を行います。

(3) 地域の文化および産業の振興を図るための方針・取組み

ウ 地域及び関係機関との連携による取組み

地元企業・団体との連携



文化芸術団体	・福井県子どもNP0センター ・福井県高等学校演劇連盟 ・劇団民塾 ・ふくいアーティストクラブ ・真舞流吟舞道会 ・花柳流亀扇会 ・福井クラシック音楽同好会 ・宗生流剣詩舞道会 ・花柳流双福会
周辺文化施設	・フェニックスプラザ ・ハピリンホール、ハピテラス ・UL0
企業・団体	・福井市地域交流プラザ ・福井市旭公民館 ・福井商工会議所 ・Fスクエア ・カワイ音楽教室 ・県内ロータリークラブ ・認定こども園協会 ・まちづくり福井（株） ・アオッサ管理組合 ・旭地区まちづくり委員会 ・福井県観光連盟 ・福井市内各公民館 ・東武トップツアーズ ・県内ライオンズクラブ ・福井県年金受給者協会 ・福井市桜木図書館 ・ウエルアオッサ ・福井県消費生活センター ・トリヤマ音楽教室 ・ライトスタッフ ・福井県私立幼稚園 ・福井県税理士協会
学校	・福井大学 ・福井県立大学 ・仁愛大学 ・福井工業大学 ・北陸高校吹奏楽部 ・仁愛女子高校マーチングバンド ・福井商業高校吹奏楽部 ・啓新高校吹奏学部 ・藤島高校吹奏学部、ジャグリング部、弦楽部 ・高志高校吹奏楽部 ・報徳幼稚園 ・昭和幼稚園 ・三心円山幼稚園
福祉団体	・福井県社会福祉協議会 ・オレンジホーム
メディア	・ふくいアーティストクラブ（PAC） ・福井クラシック同好会 ・福井劇の会 ・福井新聞 ・福井放送 ・福井テレビ ・FM FUKUI ・福井ケーブルテレビ ・日刊県民福井

(3) 地域の文化および産業の振興を図るための方針・取組み

コミュニティ活動支援

地域で活躍する人・団体と協議し、地域の魅力や文化を活かした事業を展開します。地域の同好会、クラブなどの活動の場を提供しています。

人形劇団プーク「エルマーとりゅう」

主催：認定NPO法人福井県子どもNPOセンター
共催：福井県県民ホール
後援：福井市教育委員会・あわら市教育委員会
鯖江市教育委員会・越前市教育委員会
坂井市教育委員会・永平寺市教育委員会

人形劇団プークによる人形劇で、入場者数は2日間で1,170名。お子様からご家族まで楽しめる人形劇として好評を得ています。



ふくいアーティストクラブ

主催：ふくいアーティストクラブ
共催：福井県県民ホール
後援：福井新聞社・FBC・福井テレビ
福井ケーブルテレビ株式会社
さかいケーブルテレビ株式会社

入場者数は250名。8階アトリウムにおいてお茶席も開催されました。



ジョイントイベント

出演：岡田健志氏/滝口天音氏(福井県出身)
主催：福井県県民ホール
後援：福井新聞社・FBC・福井テレビ

入場者数は251名。お客様アンケートでは、「コロナ対策がされていて安心だった」「ステージが見やすかった」等、好評をいただきました。



周辺文化施設との連携

・周辺文化施設と連携した催事の実施

例) PNS (Partnership Nursing System) 研究大会を福井市地域交流プラザと連携し開催しています。大型イベントに対し、県民ホールが中心となり、主催者とアオッサとの調整に貢献しました。





(1) 利用者のサービス向上のための取り組み

～利用者サービスの考え方～

適切にサービス提供を実施することは、施設の設置目的である、「行政の円滑な推進と住民の芸術文化および交流の拠点として、文化の創造と振興を図る」を実現するための有効な手段となる
と理解し、事業を実施します。

私たちは、本事業で利用者様への適切なサービスを提供するにあたり、以下の5Sを理念に掲げ、利用者施行に沿った事業展開を行います。

サービス力向上のための「5S」

Service Smile Spirit Safety Skill

この理念の基、**人的品質・利用環境品質の向上**を通じて文化交流の拠点としての「県民ホール」の質を高め、県民をはじめとする多くの利用者様から愛され、賑わいある施設を目指します。

「サービス力」向上のための5つのS

サービス
Service 本業務を単なる貸館業務とせず、主催者への制作支援、窓口対応、快適な環境づくりなどソフト面を含む充実したサービス提供に努めます。

スマイル
Smile 気持ち良く利用できる環境であるために、従事者のマナー教育をはじめ、暖かなサービス提供に努め、心に残る施設を目指します。

スピリット
Spirit 催事成功の礎となるべく、利用者様のサポート・快適な空間作り・公平な利用を心がけ、活気あるホールづくりに邁進します。

セーフティー
Safety 全ての利用者様に安全で快適にご利用いただけるよう適正に運営を行います。法令を遵守し、設備の正常な機能の維持、防災対策を徹底します。

スキル
Skill 舞台運営や施設管理のノウハウ・実績をフルに活用し、国家資格を持つ担当者が十分な技術を以て業務を遂行します。

利用者満足度の
向上

新たな利用の獲得
リピーターの増加

幅広い層の
賑わい創出





(1) 利用者のサービス向上のための取組み

ア 利用者の利便性向上

ホームページ（HP）全面リニューアル

旧ホームページの課題・利用者様からの声

- ・デザインが見づらい
- ・情報が少ない
- ・SNSとの連携ができていない
- ・バージョンが古くメンテナンスがしづらい

旧ホームページ



デザイン 刷新

- ・構成を全面見直し
- ・申込書ダウンロード可
- ・写真をふんだんに使用しイメージしやすく
- ・催事/イベント案内
- ・SNS情報にリンク
- ・アクセスマップ提供
- ・平面図、断面図を掲載
- ・設備の実寸サイズ表記

開発環境 刷新

- ・大手レンタルサーバを使用し最新開発環境での作業効率アップ
- ・更新作業労力の低減
- ・情報提供のしやすさ
- ・更新頻度と精度をあげることでHPの鮮度を保つ
- ・SSL対応によるセキュリティ向上

見やすく・使いやすいユーザーインターフェースで施設イメージと訴求力アップ
更新の頻度アップで利用者様の利便性向上

施設案内
すべて写真付き

- ・ホール利用形式（プロセニウム/コンベンション/平士間/オープン）
 - ・リハーサル室
 - ・楽屋
 - ・会場付属設備
- ※主要諸元も併せて掲載し利便性を高めている



利用案内

- ・開館時間
- ・ご利用について（受付期間等）
- ・申込方法
- ・利用までの準備
- ・当日～ご精算

利用料金

- ・利用料金表（ホール、リハ室、楽屋、舞台設備、機器）

各種
ダウンロード

- ・利用申請書（Excel版/PDF版）
- ・施設がイメージできるもの（写真入 8Fフロアガイド）
- ・平面図（寸法入）
- ・避難経路図
- ・パンフレット掲載用アクセスマップ データ
- ・舞台平面図
- ・ホール断面図
- ・音響/照明主要設備諸元 など

【催事一覧】

期次	期名	期日	期時	期所	期注
1期 (12)	一般公開期	11月10日	14:00	201 楽屋	一般公開期
2期 (13)	一般公開期	11月11日	14:00	201 楽屋	一般公開期
3期 (14)	一般公開期	11月12日	14:00	201 楽屋	一般公開期
4期 (15)	一般公開期	11月13日	14:00	201 楽屋	一般公開期
5期 (16)	一般公開期	11月14日	14:00	201 楽屋	一般公開期
6期 (17)	一般公開期	11月15日	14:00	201 楽屋	一般公開期
7期 (18)	一般公開期	11月16日	14:00	201 楽屋	一般公開期
8期 (19)	一般公開期	11月17日	14:00	201 楽屋	一般公開期
9期 (20)	一般公開期	11月18日	14:00	201 楽屋	一般公開期
10期 (21)	一般公開期	11月19日	14:00	201 楽屋	一般公開期
11期 (22)	一般公開期	11月20日	14:00	201 楽屋	一般公開期
12期 (23)	一般公開期	11月21日	14:00	201 楽屋	一般公開期

催事日程や演出/開演(終演)時間などを一覧形式で見やすく掲載

【イベント案内】



見たいイメージをクリックして詳細へブレイクダウン

【SNSリンク】



駅周辺情報も併せて更新頻度をあげてアップ中!





(1) 利用者のサービス向上のための取組み

円滑な催事施行に向けて万全のサポート

施設の機能面・設備面での十分な説明のご案内

- ・催事本番前には必ず事前の打ち合わせ及び下見を丁寧かつ親身に対応させて頂いております。施設の機材や機器の効果的な利活用についても十分な説明を行い、施設を安心して使用していただくことで、円滑な本番施行をサポートします。
- ・大規模催事における全館使用などのいわゆる“併用利用”に際しては、アオッサの各施設を知り尽くしたスタッフが、県民ホール以外の施設へのつなぎ役となって対応し、主催者様の負担を最大限低減できるよう努めております。

催事における支援対応

- ・「舞台機構調整技能士」資格を取得した常駐技術スタッフによる万全の対応で、催事の実施をサポートします。
- ・会場内にWi-Fiを導入し、遠隔地とのオンラインによるハイブリッドイベントやリモート会議などで好評を得ております。
- ・ホール床面と舞台との昇降用階段に手摺りを取付け、利用者様の安全に配慮しています。
- ・地下駐車場の駐車券販売サービスを実施しております。
- ・備品貸出し（電源コードや掲示用マグネットなど便利な備品・小物類）を行っております。

利用の申込、料金の支払方法・請求

- ・利用申込の方法として、窓口での申込はもちろんのこと、利便性を考慮してFAXや申請書を添付したメールでの申込みも受付けています。
- ・ホームページリニューアルを契機として、Excel形式の申請書をご提供しています。ダウンロードしパソコン等での入力が可能となりました。またPDF版もあり従来の手書での申請も可能です。
- ・料金精算は催事後請求書発行での一括払いをお願いしております。
- ・キャッシュレス決済に対応：Paypayの利用を令和元年より開始しました。

利用許可申請書

利用時間に柔軟に対応

- ・催事内容によっては、9時の開館よりも早い時間から利用したいとご希望される主催者様もおられます。そのような場合は朝8時からのご利用に対応するなど、お客様のニーズに柔軟にお応えした運用を心がけております。



(1) 利用者のサービス向上のための取組み

高齢者・障がい者を意識した対応

- ・事前の主催者側との打ち合わせの中で、高齢者や障がい者にとって危険な箇所や案内を要するようなケースが想定されるときは注意喚起を促し安全性を高めます。
- ・階段の手摺り設置や、老眼鏡、筆談器の常備、車椅子の貸し出し等、高齢者・障がい者が使いやすい環境を用意しています。

舞台昇降階段への手摺り設置 フロアから舞台上への階段に手摺りを設置し、舞台昇降の安全に配慮しました。 	老眼鏡の設置 目の不自由な方の来所に備え、老眼鏡を設置しています。 
筆談器の設置 コミュニケーションツールとして筆談器を設置しています。 	車椅子の貸し出し アオッサ管理事務所と連携し、車椅子の貸し出しを行っています。 

アンケート実施（回収）および分析検討・改善反映

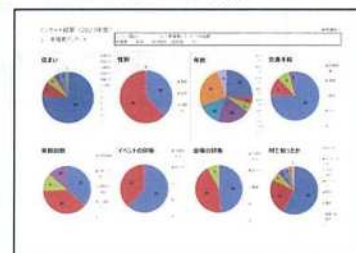
- ・現在の施設をよりよいものにしていこうとする取組みには、これでよいという“終わり”はありません。いわゆるPDCAサイクルに則った業務改善の仕組みを利用者様へのサービス向上に役立てています。
- ・当グループは、これまで「主催者アンケート」や「利用者アンケート」などの各種アンケートを通して県民ホールを利用された皆様の忌憚のないご意見を収集してまいりました。

利用者満足度・利用率の向上		PDCAサイクルシート	
Plan (利用者満足度向上のための行動計画) [決定日]		Do (お客様への対応)	
目標	改善点	対応状況	
県民ホール認知度	来場者アンケートで看板がなく会場がわかりづかった、アオッサと表記していないのでタクシーの運転手もわからなかったとのご意見を頂いた。	打ち合わせの際に看板設置をしない団体には、1F中央柱前への案内板設置をお勧めした。共催事業をする際はチケット・ポスター・チラシ・広報等に、アオッサ福井県民ホールと表記してもらうようにした。	
Action (見直し) [見直し日]		Check (評価・報告) [作成日]	
見直し項目	目標	結果、感想、今後の課題など	計画変更の必要性
		県民ホールがどこにあるのかという、問い合わせが減った。案内スタッフとの月一回のミーティングでも、開催場所の問い合わせが減ったと報告を受けるようになった。	必要

PDCAサイクルシート



アンケート用紙

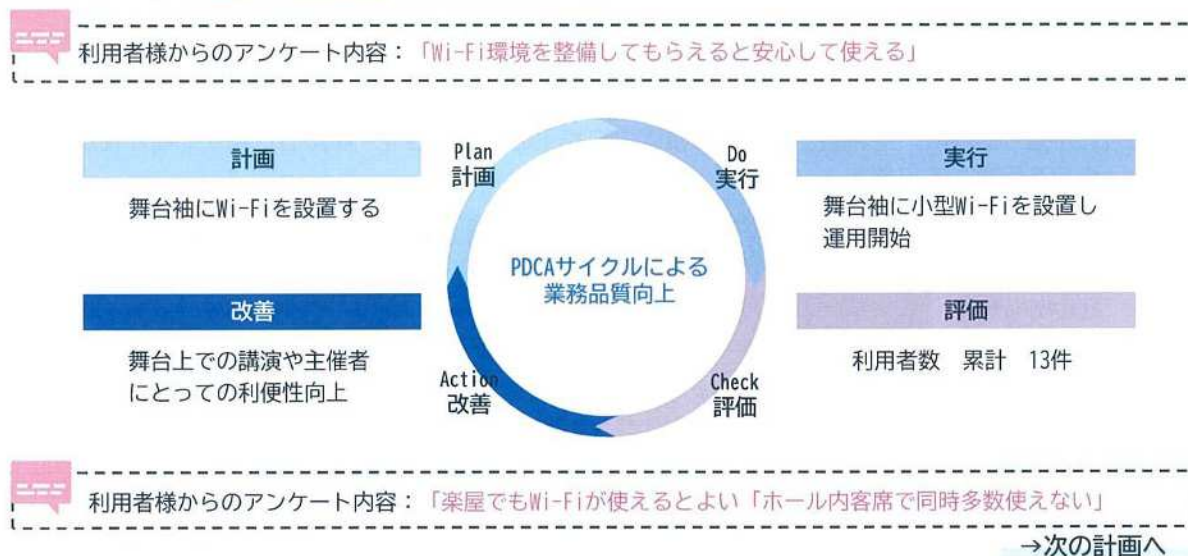


アンケート集計・分析



(1) 利用者のサービス向上のための取組み

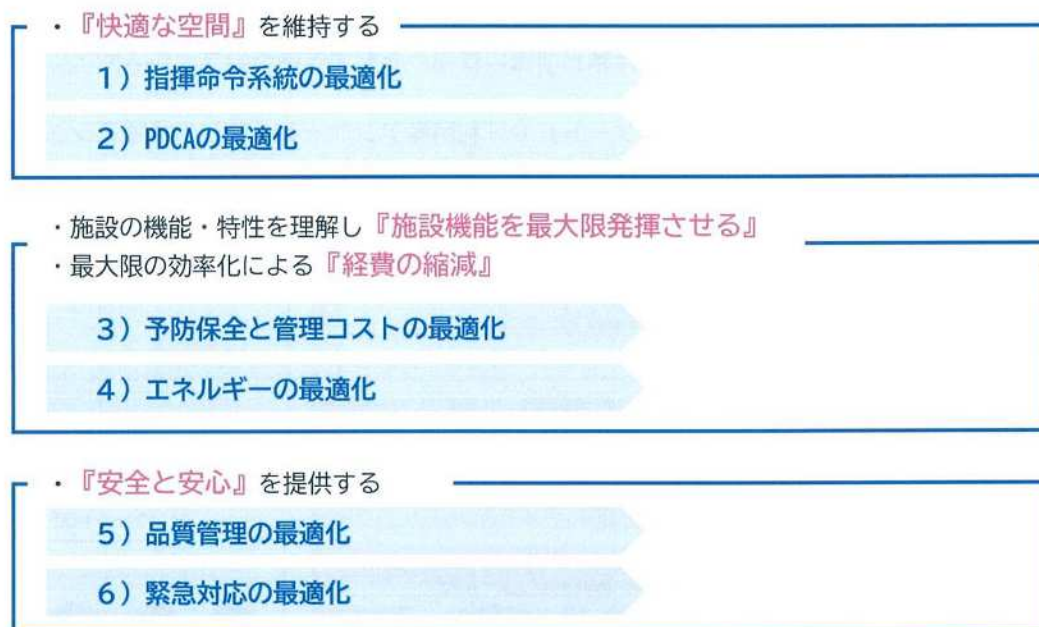
アンケートに基づく改善例 (PDCAサイクル)



イ 施設の維持管理についての取組み

利用者が「安全・安心」できる施設維持の遂行

維持管理業務の目的・意義



達成

利用者様の満足、施設の質・品格を向上

【施設ポテンシャルの最大化】





(1) 利用者のサービス向上のための取り組み

1) 指揮命令系統の最適化

- ・ホールマネージャーによる現地管理・監督のもと、維持管理業務の指揮命令系統の明確化を図り、サービス水準の均一化、窓口の一元化、維持管理業務の一貫したサービス提供を図るため、**常駐するスタッフから維持管理業務全体のマネジメントを行う施設管理担当者を位置付けます。**
- ・技術的・組織的支援体制を整え、安定したサービス提供が図れるようにします。

2) PDCAの最適化

- ・保全計画の作成 (**PLAN**) に始まり、計画に基づき必要な能力を備えた業務従事者が実施・管理 (**DO**)、充実したモニタリング体制で管理内容の問題点を抽出 (**CHECK**)、問題発生の防止措置を踏まえた改善提案を検討・再立案 (**ACTION**) するプロセスで、継続的な業務改善を行い、サービスの質を担保します。

3) 予防保全と管理コストの最適化

- ・修繕計画や類似施設のデータを基にした日常・定期点検チェックリストを作成し、施設の異常の早期発見・早期治療を行い予防保全の徹底を図ります。
- ・**舞台機構・音響・照明機器の経年劣化予測**を行い、修繕について年次計画と予算措置を行います。(照明調光卓の修繕・入れ替え等)

4) エネルギーの最適化

- ・詳細なエネルギー分析を実施し、そのデータをもとに、**省エネルギー**に注力します。エネルギー使用等、報告書を作成します。
- ・分析結果に基づくエネルギー診断を実施し、その結果最適な運用方法を提案します。エネルギー使用量の継続的削減に努めます。
- ・運営業務と維持管理業務を行う人員が連携して省エネルギーに取り組むことで利用者様に負担をかけずにエネルギー使用量削減が図れるように努めます。施設一体となってエネルギー使用量削減に取り組みます。
- ・舞台照明に関して、LED化を目指します。

5) 品質管理の最適化 【モニタリングシステム】

- ・業務の履行確認・評価を行う**モニタリング**方法をシステム化し、日常業務でのモニタリングをはじめ、巡回モニタリングと顧客満足度調査を実施します。
- ・随時モニタリングによる業務品質チェックを実施して、継続的なサービス水準の維持・向上に努めます。

6) 緊急対応の最適化 ※万全の事前準備

- ・利用者様の生命・身体安全確保に万全の対応を行うことは、最大のサービスであるという認識のもと、リスク発生を想定した各種計画づくり・訓練を重ね不測の事態に備えます。
- ・過去の事故事例等に基づき、危険箇所・油断箇所への注意喚起POP・サインの掲示を行います。
- ・火災・地震等の緊急事態に備えるため、定期的に施設全体の避難訓練を行います。緊急時の避難誘導を的確に行うには、迅速な対応が必要であり、対応マニュアルを作成し訓練を行います。
- ・緊急連絡網を確立し、必要な箇所は速やかに情報が伝わるようにします。



(1) 利用者のサービス向上のための取組み

ウ 利用者からの苦情の未然防止および対応方法

苦情やトラブルの未然防止

これまでの管理経験やノウハウから、発生が想定されうる苦情やトラブルを予見し、事前に徹底的に対策を講じることで、施設の当たり前の安全・安心を保ちます。

催事主催者への丁寧な施設説明

- ・催事主催者と催事の1か月前に事前打ち合わせを実施し、施設機能や利用方法を丁寧に説明します。技術職員が同席することで、演出面での質問や要望にも柔軟に対応します。
- ・キャンセル規程も含めた利用方法を書面でお渡しすることでトラブル防止を徹底します。



利用方法

催事終了後の転換作業への人員配置

- ・催事終了後の転換作業では、次の催事準備に支障がでないよう、勤務シフトを調整し人員を多く配置します。

スタッフへの接遇研修

- ・県民ホールは子供からお年寄り、ハンデキャップを持った方など様々な方が利用されることから、全スタッフに対し接遇を重視した研修を実施します。



苦情のデータベース化と利用者様へのフィードバック

- ・過去に発生してしまった苦情・トラブル等は、改善の種であり貴重な情報であるため、その対処方法等を含め、全て記録・データベース化し、スタッフ向けの研修等で活用する等、施設運営の糧とします。
- ・データベースから予防及び発生事例の検証を行い、ノウハウを蓄積し運営現場にフィードバックすることにより、継続的な業務改善に努めます。
- ・また、受け付けた苦情はその対処方法等を含め、ホームページで掲載や掲示板等への掲示により、利用者様へもフィードバックします。

クレーム対応マニュアルの整備

- ・苦情にしっかりと対応するための「クレームマニュアル」を整備し、水準以上の対応レベルを確保します。またデータベースを基に都度改定を行い、次の良い運営に活かします。



(1) 利用者のサービス向上のための取組み

ウ 利用者からの苦情の未然防止および対応方法

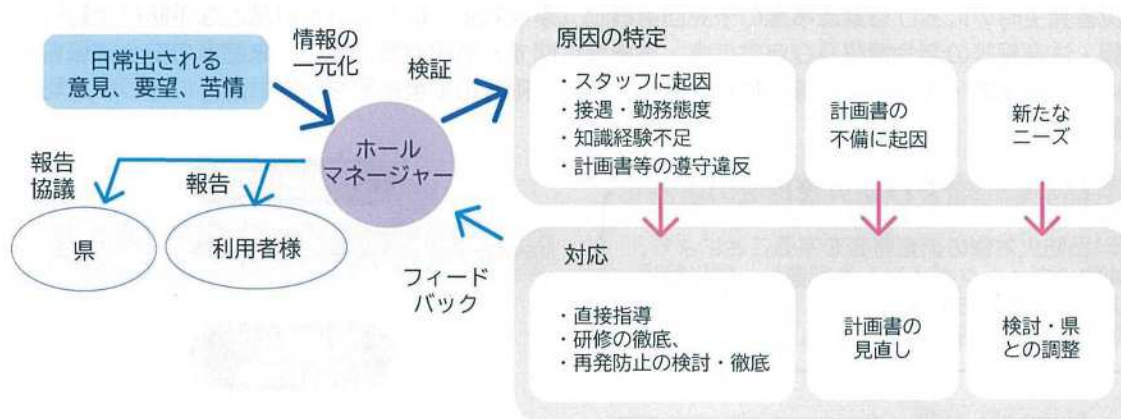
利用者又は地域住民から寄せられた苦情に対しての解決方法や対応体制

- ・利用者様からの苦情も以後の施設運営のための、「改善の種であり貴重な情報」とであると真摯に受け止め、運営内容を改善するための材料として活用させていただきます。
- ・また、苦情に対し誠実な対応を行うことは当然ですが、迅速に的確に対応するためには、応えるためのしっかりとしたシステム・ルールが必要と考え、整備します。

受付による苦情の一元的な管理

- ・業務の分け隔てを無くして一元的に管理することで漏れなく確実に情報を集約し、対応します。

クレーム対応フロー



日常的に発生する苦情への対応

- ・利用者様及び地域住民から苦情を受けた場合、スタッフは自己の権限範囲ですぐに対処できると判断した際は一時対応（対処）を行い、ホールマネージャーに報告します。
- ・逆にホールマネージャーに県等から苦情の連絡を受けた際は、該当スタッフに内容を伝えます。

スタッフに起因する苦情等の対処方法

- ・スタッフの接遇や業務態度に起因している場合、ホールマネージャーはスタッフに対し直接指導を行うとともに、自社品質管理担当と情報を共有し、研修プログラムに是正内容を反映します。
- ・スタッフが運営計画に従わなかったことに起因している場合、ホールマネージャーはスタッフに対し、計画書等の遵守について直接指導します。また事象が起きた要因を分析し、業務プロセスに問題がある場合は、業務手順や実施チェック体制の見直しを行います。
- ・ホールマネージャーの管理能力不足が起因しているケースを想定し、自社品質管理担当の定期的な研修・巡回を通じて管理者用プログラムに基づく教育・研修を実施します。
- ・計画書等の見直しを行った場合には、その内容をスタッフに周知徹底するとともに、新しい計画内容に沿った業務実施の指導を行います。

(1) 利用者のサービス向上のための取組み

エ 利用者の安全を確保するための取組み

運営と維持管理が一体となり、安全・安心・快適な空間を提供

来館者や地域住民の安全が施設運営上のすべてに優先することを念頭に業務に従事し、適切な事故・災害・犯罪等の予防保全対策を講じてまいります。想定される緊急事態に遭遇しても、多数の管理実績に基づいて整備された安全運営マニュアルに従って、来館者の安全確保と被害拡大の防止を最優先に考え、すべての関係者が迅速に所定の行動ができるよう実地訓練等の実施により、万全の対策を講じます。来館者が安全・安心・快適に利用できるように関係機関との連携を強化し、予防保全の視点から安全運営管理マニュアルに沿って適正な安全管理対策徹底、緊急時に迅速な対応が可能な二重三重のバックアップ体制を構築します。

利用者の安全確保のための具体的な方策

災害発生時等における緊急事態の予見回避義務（事前対応）に基づいた日常的な予防保全対策と警報・注意報等の発令情報及び自然災害・気象等に関する情報収集に努め、来館者の安全確保を基準に適切な施設・設備・事業等の停止・休止・利用制限等の安全措置を防災計画等に基づき適切に実施します。

1) 防災管理者及び防火管理者の選任

- ・年1回防火対象の調査報告をすることにより、建物のウィークポイントを把握し、防災管理上必要な施策を実施します。
- ・防火管理者1名を選任します。

2) 自衛消防組織

- ・すべてのスタッフが参画した自衛消防組織を設置し、それぞれの役割分担を行い、緊急事態にも結果回避義務（予見出来る損害の回避）が果たせる体制を強化します。日常の火災予防及び災害発生時のシミュレーションとして、防災教育を定期的の実施します。

防火管理者

大ホール

リハ室

楽屋等

ホワイエ

統括責任者
(防火管理者)

初期消火

避難誘導

応急救護

通報連絡
(情報)火災の初期
消火活動在館者が
避難する
際の誘導

救出救護

情報の収集
伝達及び
消防用
設備の監視

3) 防災計画

- ・火災予防上の自主点検として避難誘導経路や障害物等を勘案し、安全運営管理マニュアルを作成します。これに基づいて職員が閉館前に点検します。日常の火災予防及び災害発生時のシミュレーションとして、防災教育を定期的の実施するとともに、消防署等の協力を受けて自衛消防組織による消火・通報・避難等の防火訓練に積極的に参加します。

4) 自然災害時の利用者様への配慮

- ・台風や雪などの自然災害が想定される際は、建物・敷地への被害発生予測や利用者様への影響を第一に考えた事前対策、アオッサ全館と連携した各所の利用制限や動線確保など、これまでの施設管理・運営で培ってきた経験を活かし、迅速な対応措置を講じます。



(1) 利用者のサービス向上のための取組み

エ 利用者の安全を確保するための取組み

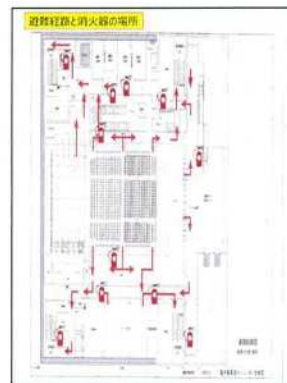
事故・災害等発生時の対応

- ・事故や災害が発生した際は、防災対応マニュアルに則って迅速に対応します。また、県や関係連絡先との適切な連絡、対応を図ることができるよう、常駐するホールマネージャーに情報を集約し適切な状況判断ができる体制を構築しています。
- ・日本管財は、365日24時間対応のコールセンターを有しており、夜間休日の緊急時でも同センターを介して対応が可能です。

「令和6年能登半島地震」では、アオツサ自体も大きな被害を被りました。元日ということもあり人的被害はまぬがれたものの、いつ襲ってくるかわからない地震災害の恐ろしさを身をもって経験しました。この経験を踏まえて、お客様との事前打ち合わせの際は、ご利用時のもしもの災害発生に備えて『避難経路図』および『地震発生時の対応マニュアル』をお渡ししたうえ詳しくご説明するようにしています。



防災対応マニュアル



避難経路図

2本社制の強いバックアップ体制に基づく継続性の高いサービスの提供

日本管財では、管理物件の運営をサポートするために、東京と兵庫の2拠点2本社制による相互補完体制を確立しています。災害発生時に相互協力によるバックアップを行い、サービスの継続性を担保しています。

令和6年能登半島地震時の対応事例（富山県射水市包括管理）

- ・令和6年1月に発生した能登半島地震において、日本管財が包括管理業務を受託している富山県射水市も震度5強の揺れを観測し、包括管理対象である105施設の多くで、ガラスの破損等の被害発生
- ・地震発生後、すぐに現地の管理センターが緊急対応にあたったほか、東西の弊社本部から技術職員を派遣（18日間、延べ約60名）
- ・ガラス破損の応急処置や、危険箇所への立入禁止措置など、二次被害防止措置を実施



施設の被害状況調査



射水市から感謝状を拝受



調査報告事例



(1) 利用者のサービス向上のための取組み

オ 個人情報の取り扱いについての考え方

「個人情報保護法」等関係法令の遵守および万全な情報管理体制を構築します。

- ・ 公共施設を預かる指定管理者として、個人情報保護法及び「福井県個人情報保護条例」を遵守します。
- ・ 日本管財は、一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）より適切に個人情報の保護措置を講ずる体制整備を行っている証であるプライバシーマーク（以下、Pマーク）を認定取得しています。県民ホールにおいてもプライバシーマークに準拠した運用を実施します。



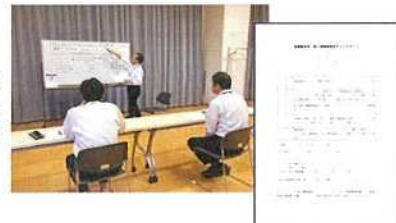
個人情報管理体制の構築

個人情報保護マネジメントシステム（PMS）を適用

- ・ Pマーク取得のためには個人情報保護マネジメントシステム（PMS）の構築が求められます。日本管財社内において構築したこのPMSを県民ホールにも準用し、社内事業所と同等レベルでの運用体制を目指します。

PMSにもとづく個人情報保護教育の実施

- ・ システムをどれほど堅固に構築しても、あくまでも運用するのは現場のスタッフです。よって業務において日々個人情報を取り扱うスタッフへの教育は非常に重要です。私共は以下の観点から教育をとおり、**現場のセキュリティレベルの向上に努めています。**



【PMSを遵守するメリットおよび遵守しないことで起こりうるリスク】

「個人情報保護委員会」が提供する『ヒヤリハット事例集』などを使い実際の業務において情報漏洩が起こりうるのはどんな時か等、机上の理論だけではなく実際に起こりうる具体例を想定した研修を行っています。

取得した個人情報はあくまでも県民ホールをご利用いただく

「利用者様からお預かりしたもの」

であると認識しその保護に努める

個人情報の取扱いのルール

- (1) 目的・保管場所・施錠有無・保管期間・廃棄方法などを一覧形式の「個人情報管理台帳」を用いて管理します。
- (2) PMS研修を通じ、全スタッフへの情報セキュリティ意識の徹底を図ります。

具体的施策

- 《取得時》① 利用目的を明確にし、直接書面取得の同意を得る
- 《利用時》① 外部への持ち出し、電子媒体への保存コピーの禁止
 - ② FAXやメール送信時の宛先確認の徹底
 - ③ 移動時の紛失、置き忘れ、盗難などに注意
- 《保管時》① 個人情報が記載された書類について、施錠可能かつ視認不可な書庫に保管し施錠管理を実施
 - ② PCウィルス対策、パスワード管理、なりすましの防止
- 《廃棄時》① 紙媒体はシュレッダーで確実に破棄する。PCなどは記憶媒体を物理的に破壊する
- 《漏洩事故防止のために》① 自分は大丈夫だという思い込みが一番危険だと認識する
 - ② 口頭での漏洩にも注意する





(2) 利用料金の設定水準、料金に関する提案

ア 利用料金の設定額および利用料金に関する独自の提案

料金設定

オープン以来変更なく、利用者様が使いやすい料金設定であるため、施設・設備ともに現状のままと致します。

ホール利用料金表

区 分			限度額（単位：円）				
			時 間 区 分			全日	超過時間一時間 当たり
ホール	平日	(税込)	20,430	30,170	33,630	84,020	8,400
		(冷暖房費)	4,086	6,034	6,726	16,804	1,680
	土曜日 日曜日 及び休日	(税込)	24,520	36,250	40,440	100,880	10,090
		(冷暖房費)	4,904	7,250	8,088	20,176	2,018
楽屋一			1,150	1,680	1,880	4,720	470
楽屋二			1,150	1,680	1,880	4,720	470
楽屋三			1,150	1,680	1,880	4,720	470
楽屋四			1,150	1,680	1,880	4,720	470
リハーサル室			2,520	3,770	4,190	10,480	1,050

※「福井県民ホールの設置および管理に関する条例」に基づく限度額
(第10条、第13条のとおりとする。)





(3) 利用者増、利用促進のための取組み

ア 施設の利用促進のための取組み

積極的な広報活動や地元団体との協力により県民の利用を促進します。

各団体との連携

- ◆企業利用の促進
- ◆他ホールと連携した伝統芸能の促進

交流拠点としての機能

- ◆HP掲示板、SNSの活用
- ◆館内掲示板の設置
- ◆リハーサル室の利用促進

施設利用促進のため地元団体と協力して施設の認知度を向上させるとともに、「公の施設」であることを念頭に公平・平等性を確保し、多世代が活動できる管理運営を行います。

施設利用促進活動として「各団体との連携」「交流拠点としての機能」の2つを軸とした活動を行います。

各団体との連携

- ・「芸術文化団体」「学校」「自治体」「周辺文化施設」「福祉団体」「観光団体」「地元企業」と連絡を密にとり、地域ニーズを汲み取った事業を展開します。
- ・地域ニーズを汲み取った事業展開を行うと共に、多くの県民が県民ホールをより利用しやすくなるようにプレイガイドを増やしより利便性の高い施設を目指します。

企業利用の促進

- ・地元メディアと連携して広報にあたるだけでなく、地元メディアタイアップの事業を展開します。
- ・地元広告代理店と連携します。自主事業企画の立案を始め、各種イベントを県民ホールで開催していただきます。
- ・メディア関係企業にとどまらず、多くの県内企業に研修会等で県民ホールを利用していただけるよう働きかけを行います。

地域の芸術団体との連携

- ・芸術文化振興のためには、県内を拠点として活動している各団体との連携は必要不可欠です。
- ・県内で活動する文化団体の連携組織である「福井県文化協議会」では113の団体が登録されており、こうした団体との連携・協力により、県民ホールの認知度を高めていく取組みを行います。

交流拠点としての機能

ホームページ及びSNSの積極的な活用

- ・多くの方に施設貸出、鑑賞機会、発表機会、文化教室を提供できるよう、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を積極的に活用し、等しく情報の提供を行うと共に、「利用者との双方向での情報共有」「利用者同士の交流促進」を図ります。
- ・県民ホールの開館情報やイベント情報を毎日更新します。イベント情報には写真を貼りつける等、見る人の興味を引き、わかりやすい内容とします。
- ・文化芸術団体が情報発信の場とし使用できる掲示板をHPに設けます。書き込み可能な団体は事前登録制とし、設置目的に沿った運用を行います。団体メンバー募集等手軽に行うことが可能です。

Facebook

X



SNSの活用



ホームページへの掲示



(3) 利用者増、利用促進のための取組み

イ 利用促進のための広報活動

広報計画

- ・県民ホールは単なる「場所」ではなく、多くの方が「交流する拠点」です。イベントなどの情報を届ける広報に留めず、福井県の文化拠点の役割を果たせるよう、目的を持った広報計画を立てます。

地元メディアとの連携

- ・芸術・文化の振興と県民ホールの活性化を図っていくためには、まず県民ホールがどのような施設なのか、どのような事業を行っているかを県内の多くの人々に知っていただくことが重要であると理解しています。そして、その情報を容易に入手できることが効果的な広報手段になると共に、利用者様にとってのサービスレベルの向上に繋がると考えます。
- ・県民や県外からの来館者、主催者に対して効果的に情報を発信していく取組みとして、地元マスメディアに施設・事業の取材やニュースとして取り上げていただく依頼を積極的に行います。
- ・地元マスメディアとの連携は、ワークショップやアウトリーチの企画なども文化面に掲載し、チケット販売を促進するだけにとどまらず、取材の受け入れなども積極的に行い、話題を提供します。



令和6年6月13日 福井新聞の記事

【連携メディア】

- ・ふくいアーティストクラブ ・福井新聞 ・FM FUKUI ・福井クラシック同好会
- ・福井放送 ・福井ケーブルテレビ ・福井劇の会 ・福井テレビ ・日刊県民福井

営業活動

- ・ホールマネージャーをはじめ、運営スタッフは県民ホールの営業マンとして、施設の利用促進活動を行います。県内外の文化団体及び企業に営業活動を行い、県民ホール稼働率向上に寄与します。また、日々の業務の中で利用者様と接する際に得た情報を活用することで、県民の潜在的なニーズ発掘を行います。
- ・営業活動の一環として、必要に応じてDM（ダイレクトメール）を打つ等、ピンポイントに営業活動を行うことで費用を極力抑え、最大限の効果を発揮します。

【DM送付先リスト】

- ・宝永公民館 ・春山公民館 ・松本公民館 ・日新公民館 ・港公民館
- ・福井県立歴史博物館 ・福井県立/市立図書館 ・福井県立/市立美術館
- ・福井県立学習館 ・ユー・アイふくい ・みくに未来ホール ・鯖江市文化センター
- ・大野市文化会館 ・越前市文化センター ・敦賀市民文化センター ・嚮陽会館
- ・つばき児童館 ・ひまわり児童館 ・石川県音楽文化振興事業団 など計56施設

パンフレット・リーフレットを活用した情報発信

- ・パンフレット及びリーフレットは、SNS全盛の現在であっても、簡単に手に取れるという意味で情報発信手段としていまだ重要なツールです。
- ・“ユーザー視点の情報発信”を基本とした内容とします。



(3) 利用者増、利用促進のための取組み

ホームページを活用した情報発信

- ・「見やすく使いやすいユーザーインターフェース」をコンセプトとしてホームページの全面リニューアルを行いました。必要な情報をできる限り網羅しかつスムーズに取り出せるつくりとなっています。施設の写真イメージや実寸法の開示、各種申請書のダウンロード機能を持たせるなど利便性の高いものとなっております。
- ・催事/イベント情報、SNSリンクも更新の頻度を上げてアップデートしています。
- ・利用申請書などの申請書類をデジタル化し利用者様の手間を軽減しました。

【施設案内】

ホール利用形式、リハーサル室、楽屋、付属設備等（写真・寸法付きでわかりやすく）

【利用案内】

開館時間、申込方法、利用日までの流れ、精算

【各種ダウンロード】

利用申請書、フロアガイド、平面図、避難経路図、舞台平面図、機器主要諸元 など

【催事一覧】

催事日程や演目、開演時間などを一覧形式で掲載

【イベント案内】

パンフレットイメージから詳細情報へブレイクダウン

【SNSリンク】

Facebook・X にて最新情報をアップ



SNSでの情報発信

- ・県民ホールの開館情報やイベント情報を更新頻度を上げて更新中です。
- ・新幹線開業を機に新しくなった福井駅の情報も併せてUPし魅力の発信に努めています。

今後もこれらのツールを最大限に活用し、利用促進につなげてまいります。



(3) 利用者増、利用促進のための取組み

ウ 令和7年度から令和11年度までの計画数値

コロナ禍の影響を令和3年度途中迄受けたため、過去4年平均のホール稼働率は70%ですが、利用促進活動の結果、**令和5年度は80.9%という過去最高を記録**しています。

過去4年のホール稼働率

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	平均
稼働率	45.5%	74.7%	78.9%	80.9%	70.0%
利用人数(人)	16,998	31,014	47,465	61,465	39,235

継続する取組み

- ・懇切丁寧な接客を行い顧客満足度を高めリピータ客増加に繋げる
- ・福井県観光連盟と協力・連携し大中規模学会の利用促進に繋げる
- ・アトリウムスペースをアオッサミニギャラリーとして活用
- ・SNS、ホームページを活用した告知等の情報の発信
- ・アオッサ全体、周辺施設との連携
- ・アンケートを活用したご意見の反映

新たな取組み

- ・アオッサ寿大学のリニューアル開講
- ・福井県立大学「まちなかキャンパス」との連携
- ・「アオッサの乱」の再開
- ・ホールの開放(自主事業)
 - ピアノに限らず舞台を使って練習の場を提供(合唱、ダンス等)
- ・ホール見学、下見相談会(自主事業)
 - 受付の場所や舞台のスクリーンなどを確認いただくことで催事のイメージをリアルに体感していただける機会を提供。専門スタッフが質問に対応します。

今後もこのような取組みにより、**稼働率84.7%以上**を目指します。

令和7年～11年の目標ホール稼働率

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
稼働率	84.7%	84.7%	84.7%	84.7%	84.7%
利用人数(人)	63,000	63,000	63,000	63,000	63,000

目標稼働率の算定根拠

- ・継続する取り組みにより令和5年度稼働率を維持します。**(80.9%)**
- ・新たな取組みの内、見学・下見相談会を含む自主事業で年10回以上利用を増やします。**(+2.8%)**
- ・見学・下見相談会、幅広い広報等の取組みにより利用を増やします。**(+1.0%)**



(4) 利用者の意見の反映、業務改善への取り組み

ア 利用者の要望の把握および対応についての取り組み

県民の方々に快適に施設利用していただけるように、施設利用に関する要望、質問等を把握し、意見を反映する仕組みをつくります。

利用者、来場者アンケートの実施による把握等

- ・ご意見BOXの設置（施設利用の際の要望、質問、苦情等、利用者様の意見を簡易に把握する）
ホールに関する要望、質問、苦情等／ホール利用の感想／自主事業に対する要望 等
- ・自主事業アンケート（自主事業の観客、参加者の意見を把握する）
サービスや公演内容等に関する満足度等
- ・主催者アンケート
主催者からの施設利用やスタッフ対応等の意見

利用者以外のアンケートの実施による把握等

県内の芸術団体、個人にモニタリングを行い、特に「利用しない理由」を抽出し、検討する。

施設利用者アンケート結果の活用

- ・利用者様の満足度の低い点を重点的に洗い出し、定期的に改善に向けた検討を行う。

自主事業アンケート結果の活用

- ・自主事業ラインナップや事業内容を組み立てる際の参考
- ・今後の運営の課題改善や支持層のさらなる獲得

事業評価調査としての活用

- ・貸館、自主事業の結果を分析し、事業評価として活用
- ・事業運営や今後の方向性等を検討

苦情に対する対策の活用

- ・内容の正確な把握、再発防止を心がける。
- ・苦情やクレームを貴重な改善提案として受け止め、対応はマニュアルを作成し、報告、会議を行う等迅速に対応する。
- ・基本的には、お客様説明マニュアルや事前打ち合わせマニュアルをつくり、未然防止に努める。



↑パンフレットラックの設置

↓ご意見箱の設置



←催事情報を掲示できる
インフォメーション
ボードの設置

利用者様の声

- 県民ホールを利用するときは舞台関係者の方がだいたい同じなのでやりやすくありがたいです。今後ともよろしくお願いいたします。
- トイレの場所が分かりにくい。 ⇒ ホワイエの光壁2ヶ所、ホール内出入口4ヶ所にトイレ案内のサインを掲示。ホールの出入口に案内看板も設置した。
- 駐車場がいっぱいになる事が多く、先に分かっていればという事が多いのでどうにかして連動出来ればと思います。 ⇒ 満車の際のトラブルを軽減するためにも近隣の駐車場の案内を行う（駐車MAPの設置）

※これらのアンケート結果やご意見を基に、継続的な業務の効率化と高品質化、さらに新たなサービスへと発展させていきます。



(4) 利用者の意見の反映、業務改善への取り組み

イ 目標管理による業務の効果測定についての取り組み

目標管理による業務の効果測定については、下記の年次サイクルを基礎とし、定量的目標管理を行うとともに、利用者アンケート等からの客観的評価の効果測定を実施します。

(a) 事業計画書の作成

- 1) 施設管理業務の実施計画および利用計画
 - ・ 組織体制
 - ・ 休館日（施設設備の保守点検日）の年間計画
 - ・ 施設区分の稼働率、稼働日数、利用者数、利用公演数の計画
 - ・ 施設設備維持管理費
 - ・ 利用率向上のための事業計画
 - ・ 課題分析と事業評価方法
- 2) 地域の文化および産業の振興を図るために行う業務の実施計画
 - ・ 普及広報、情報発信の実施計画
 - ・ その他の業務
- 3) 利用料金の収入見込み
- 4) 県民ホールの管理に係わる経費の収支見込み
- 5) 自主事業計画

(b) 月次報告

- 1) 実績
 - ・ 施設別の稼働率、稼働日数、利用者数、利用公演数
 - ・ 利用料金の収支状況
 - ・ 利用者等からの苦情とその対応状況
- 2) 計画
 - ・ 翌月の開館予定
 - ・ 翌月のホール利用計画

KPI設定に基づく実効的なセルフモニタリングの実施

- ・ 数値目標（KPI）を設定し、進捗を月1回のセルフモニタリングで確認します。月次報告で達成状況を県と共有しながら改善を繰り返し、本業務の水準を継続的に向上させます。
- ・ 毎年評価項目や目標数値を見直すことで、本業務における効果の最大化を実現します。

No.	達成目標項目	KPI（案）
1	利用者数	5,200名/月
2	施設稼働率	84.7%
3	自主事業実績	1件/月
4	利用収入額	2,903,333円
5	クレーム件数	0件

(c) 年次報告

- 1) 施設管理業務の実施状況および利用状況
 - ・ 組織体制
 - ・ 施設区分の稼働率、稼働日数、利用者数、利用公演数
 - ・ 施設設備維持管理状況
 - ・ 課題分析と事業評価
- 2) 地域の文化および産業の振興を図るために行う業務の実施状況
 - ・ 情報発信の実績
- 3) 利用料金の収入実績
- 4) 県民ホールの管理に係わる経費の収支状況

(4) 利用者の意見の反映、業務改善への取り組み

ウ その他

地域および関係機関との連携

福井県との連携

- ・指定管理者は県の代行者であり、県との連携が最も重要です。そこで、毎月1回県との定例会議を実施します。月次報告書の内容報告のみにとどまらず、維持管理を含めた今後の事業スケジュール調整・県の要望事項に対する対応状況等、密な情報共有を行います。
- ・県に対して下記報告書を定期的に提出することで、情報交換の内容を書面にて残します。
- ・県と共催で行う受託事業については事業毎に別途会議体を設けます。

月次報告書 (月1回)	・施設利用の状況 ・利用料金の収入状況 ・受託・自主事業の実施状況 ・利用者等からの苦情とその対応状況 ・その他の事項
外部評価委員会 (年1回)	・管理運営業務の実施状況及び利用状況に関する事項 ・利用に係る利用料金収入の実績に関する事項 ・管理運営業務に係る経理の状況に関する事項 ・これらの業務実施状況についての評価
年次事業報告書 (年1回)	・管理運営業務の実施状況及び利用状況に関する事項 ・利用に係る利用料金収入の実績に関する事項 ・管理運営業務に係る経理の状況に関する事項 ・その他、知事が認める事項
事業計画書 (年1回)	・翌年度の指定管理業務全般に関する事業計画

受託事業・自主事業共催団体との連携

- ・受託事業、自主事業ごとに、随時関係団体と会議体を設け情報共有を行います。
- ・調整、協議、関係団体各社間などホールマネージャーを接点に連携を図ることで、アイデアを整理、統一し、個々の催事が他の催事運営に支障がないように調整します。

各種団体との連携

- ・関係団体との情報共有についても頻度を決めて情報共有を実施します。団体ごとにホールマネージャーをはじめとした企画営業スタッフから担当者を選任し、円滑な関係を築くことで、県内ニーズの共有などの管理運営の手助けを致します。

【例】公立文化施設協議会（年2回）、コロナ対策やインボイス制度の勉強会

地域の皆様との連携

- ・人が賑わい、地域に愛される施設にするには地域の企業、各種団体との連携は不可欠であると考えます。

消防・警察との連携

- ・管轄消防及び警察署との連携を密にとり緊急事態に備えます。消防計画の策定、消防署立ち合いの避難訓練、緊急避難場所の確認等万全の態勢を整えます。





(5) 新たな企画提案（自主事業）について

「創る」「育てる」「支える」「観る」4つのコンセプトによる自主事業企画

福井県の長期ビジョン達成に貢献できるよう、県民ホールとしては下記のような課題を解決するために4つのコンセプトに基づく自主事業を企画します。多様な主体と交流・連携・協働することで、地域の文化および産業の振興を育みながら心豊かに暮らせるまちづくりに寄与します。

福井県の長期ビジョン

「自信と誇りのふくい」

「ふくいらしさ」を伸ばし、
外に開いて人を呼び込む。

「誰もが主役のふくい」

多様な個性を大事にし、
みんなが自分らしく輝く。

「飛躍するふくい」

変化をチャンスに、
しごととくらしを創造。

県民ホールの課題

【人づくり】

- ・人材の輩出
- ・人材の参集
- ・県民活動の推進
- ・教育環境の充実

【暮らしづくり】

- ・文化的な暮らしの充実
- ・福祉の充実
- ・地域コミュニティの再生

【産業づくり】

- ・地場産業の活性化
- ・雇用の創出
- ・舞台芸術のマーケット拡大

【都市づくり】

- ・賑わいの創出
- ・国際交流の推進
- ・地域力の高揚
- ・資源を活かしたまちづくり

4つのコンセプトに基づく自主事業重点施策

コンセプト	自主事業重点施策
創る事業	1) 高レベルの文化を発信する 2) 県民と共に創造する
育てる事業	1) 地域文化の担い手の育成・継承 2) 気軽にホールに触れる
支える事業	1) 県民の文化活動支援 2) 地元アーティストの創造活動支援
観る事業	1) 地元出身者の公演 2) 幅広い年代に芸術鑑賞の機会





(5) 新たな企画提案（自主事業）について

自主事業の過去事例

創る事業 高レベルの文化を発信する／県民と共に創造する

ジョイントコンサート

- ・県民ホールオリジナルのコンサート
- ・他ジャンルとコラボレーションした創造性豊かな公演

ピアノトリオコンサート
入場者数：170名

福井市を拠点に活動する音楽家らによるコンサートを開催。来場者の年齢層が高く、県民ホールに初めて来館される方も多い公演となりましたがコンサートの内容、会場の雰囲気等も高い評価をいただきました。



ピアノと朗読による、「星の王子さま」
入場者数：205名

好評を博したピアノと朗読劇の第2段を企画・実施。入場者は各年代が平均しており、全年齢層にアピールできたイベントであったと思われます。



育てる事業 地域文化の担い手の育成・継承／気軽にホールに触れる

ピアノ開放

ホール舞台上のグランドピアノを開放し、舞台上で実際にピアノ演奏を体験する機会を提供

「ステージでピアノを弾こう！」
参加枠：5組/日（満員）

土日に施設予約がない日（年2回程度）に、不定期開催しております。ピアノ発表会の予行演習や、本格的なピアノ、ホールの音の響きでの演奏体験としてご利用いただき、毎回早々に参加枠が埋まるなど、好評をいただいております。
アンケートにて「ピアノだけでなくフルートやクラリネットでの開催はないか」といったご要望もいただき、今後のヒントとして、開催頻度も含め検討中です。



舞台技術者講習会

中高生対象の舞台裏方ワークショップを開催

舞台裏方ワークショップ
参加者：中高生30名

福井県子どもNP0センター様と共催で実施。県内の中高生が参加され、音響・照明を学んでいただきました。「舞台の裏側を知ったので演劇を観る時今までとは違った見方ができる気がする」「たくさんの人の力で舞台が成り立つことを強く感じた」との感想をいただき、将来の舞台人育成に繋がる事業となりました。



(5) 新たな企画提案（自主事業）について

支える事業 県民の文化活動支援／地元アーティストの創造活動支援

アオッサ寿大学

シニア世代の健康保持増進と趣味や生きがいづくり

シニア向け講座「アオッサ寿大学」

アオッサ6階「福井市地域交流プラザ」にて開講していた「アオッサ寿大学」を、コロナ禍を経て4年ぶりに県民ホールにてリニューアルし再開しました。再開以来、毎月100名以上の方にご参加いただき、ご好評を得ております。今後も定期的に開催予定です。



6月13日 福井新聞の記事

ミニギャラリー

県民の作品展示の場の提供

アオッサminiギャラリー

8階アトリウムの一部をアオッサミニギャラリーと名付け、無料の展示スペースとして開放しました。福井県出身・在住の、絵画、書道、写真、造形等の展示や個展を開くことができない方、学生を中心に実施しています。小さなスペースを活用していただくので、気軽にご利用いただけます。また、展示を通してこれまでアオッサへ来る機会がなかった方の来館を促すことに貢献しています。



油彩画展



アート作品展 Vol.2

コンサート等

地元文化団体、アーティストクラブ等を支援

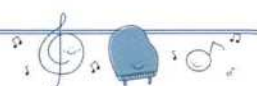
福いいネ！ほっとコンサート
入場者数：250名
主催：福井市教育委員会

音楽を通して地域住民が気軽につながりあえる場をつくるとともに、コロナ後の明るい未来に向かって県民一人一人が互いに元気づけあえるようなコンサートをテーマに開催しました。



トレオ・レ・ヴァン・コンサート
来場者数：約100名
後援：福井県文化振興事業団
FBC・福井テレビ
FM福井・月刊ウララ
(株)鳥山楽器
MPC楽器センター福井

福井県出身の演奏家による三重奏コンサートを開催。年齢は10代～70代と幅広く、福井市だけでなく勝山市、越前市からの来場者も多数いらっしゃいました。





(5) 新たな企画提案（自主事業）について

観る事業 地元出身者の公演／幅広い年代に芸術鑑賞の機会

アオッサの乱

来館数1,000名以上の大人気イベント

アオッサの乱
来場者数：1,000名以上

民間の企画会社主催で開催し、スタンディングでの爆発的な歓声と踊りで、アオッサビル全体が大きく揺れるほどの盛大な盛り上がりを見せました。北陸新幹線開業後の福井駅前活性化の起爆剤として、今後の開催を検討中です。



演劇・人形劇など

関係団体と連携し、児童・生徒の芸術鑑賞の機会を提供

人形劇団プーク 「エルマーとりゅう」
入場者数：1,170名(2日間)

主催：認定NPO法人福井県子どもNPOセンター
共催：福井県県民ホール
後援：福井市教育委員会・あわら市教育委員会
鯖江市教育委員会・越前市教育委員会
坂井市教育委員会・永平寺市教育委員会

原作者ガネットさん祝100歳＆日本語版刊行60周年＆世界初の人形劇化のトリプル記念公演の『エルマーとりゅう』はお子様からご家族まで楽しめる人形劇として好評を得ています。



コンサート

地元出身者や地元で活動されているアーティストのコンサート

小林寛明 二胡演奏会
入場者数：157名
主催：福井県県民ホール

福井県在住の二胡奏者小林寛明さんを招き、民族楽器のイメージを越えた二胡の音を幻想的な映像と共に観客に届けました。当日は悪天候にもかかわらず50名の方が当日券をお買い上げいただきました。

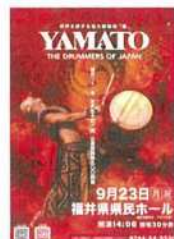


オペラファンタジー
入場者数：120名
主催：福井県県民ホール
後援：福井県文化振興事業団
福井新聞社・FBC・FM福井
福井テレビ・月間ウララ
鳥山楽器株式会社
MPC楽器センター福井

初めて県民ホールに来館いただいた方が30%で、「トイレが広くて使いやすい」「音響が素晴らしい」等うれしいご意見もいただき事が出来ました。

YAMATO THE DRUMMERS OF JAPAN
主催：株式会社魂源堂

結成31年目、世界54ヶ国で公演回数4,500回を超える世界を旅する和太鼓集団YAMATOの2024年ツアーを開催いたしました。コロナ禍のため久しぶりの福井公演であり、観客の方も「和太鼓の音と一体になり、その音圧に感動した」等嬉しい声をいただきました。



今後も、文化団体や教育機関、民間の企画会社等と連携し、新幹線効果も取り込んで他県からの来場を見込める集客の多い催事を誘致します。





4.施設の管理経費の縮減に関する事項

(1) 利用料金収入の確保、経費削減についての取り組み

- ・県の財政負担を軽減するためには「**利用収入の増加**」と「**経費削減**」の両輪をうまく動かせることが重要と考えます。
- ・当グループの経費削減策は、利用促進による収入増という前向きな縮減としております。加えて間接経費の縮減により指定管理料の圧縮を図ります。

利用料金収入の確保

自主事業実施計画・施設利用促進に記載した通り、充実した広報手段の駆使による施設利用料収入の増加・地元団体と連携した稼働率向上策の実施による確実な収入の確保を目指します。

・施設利用収入 サービス向上による稼働率向上の確保

「サービス力」向上のための5つのS・人的品質・利用環境品質の向上

- ・サービス向上により、稼働率UP・リピーターの獲得
- ・パーティー等ケータリングサービスとの連携で稼働率UP
- ・未収の防止

・自主事業収入 有料事業来場者の確保

魅力のある自主事業を企画・運営

- ・鑑賞事業・創造事業では、質の高い事業内容を開催
- ・オリジナルイベントの開催
(アオッサ寿大学等の継続開催)
- ・リピーターの獲得



アオッサ寿大学

・オプション収入 利用者様のニーズに対応

きめ細かいサービスの提供

- ・既存の設備では不足している機材・人材の提供
- ・看板・花 等の手配などの利用者様のニーズに柔軟に対応

技術オプションサービス料金表(抜粋)

■人件費	品目	単位	価格
舞台技術			
	技術要員人件費(オペレーター)	1名	28,000円/8時間(休憩1時間)
	技術要員延長料	時間	3,500円/時間
映像技術			
	映像技術要員人件費(オペレーター)	1名	40,000円/8時間(休憩1時間)
	映像技術要員人件費(サブオペレーター)	1名	32,000円/8時間(休憩1時間)
	映像技術要員人件費(カメラマン)	1名	32,000円/8時間(休憩1時間)
	映像技術要員時間延長料	時間	35,000円
映像その他			
	1スチールカメラマン	1名	25,000円～
舞台進行			
	司会	1名	30,000円～
	舞台監督(ステージマネージャー)	1名	30,000円～
	舞台監督補助(ステージサブマネージャー)	1名	25,000円～
	ケータリング	1名	20,000円～
制作費			
	舞台進行・演出		
	舞台プラン作成	1本	30,000円～
	照明プラン作成	1本	30,000円～
	音響プラン作成	1本	30,000円～
	進行台本作成	1本	30,000円～
舞台音響			
	記録録音(2Trステレオ60分)	1式	録音技術料 3,000円 (メディア費用 別途)
映像			
	記録映像 撮影 (通常のステージ記録 本番4時間程度まで)	1式	カメラマン 1人 32,000円 カメラ DVCAM, XDCAM 1台 20,000円～ (テープ代、メモリー代等メディア費用 別途)
	映像編集	1式	40,000円～
	パワーポイント資料制作	1式	30,000円～
	DVD作成		
	DVD制作 単純ダビング	1式	3,500円～
	DVDオーサリング(メニュー装飾)	1式	30,000円～
映像中継			
	カメラマン	1名	32,000円
	カメラ	1台	23,000円～
	TSCスイッチャー(配線一式込み)	1式	32,000円～

事務オプションサービス料金表(抜粋)

■業者発注	単位	価格	税込金額
サイン関係(ムラセキ工店紹介の場合) 標準金額。仕様、サイズ応談。			
一文字吊看板			
900×7,200	1枚	¥48,000	¥52,800
700×7,200	1枚	¥48,000	¥52,800
800×6,000	1枚	¥42,000	¥46,200
600×500	1枚	¥35,000	¥38,500
600×3,600	1枚	¥27,000	¥29,700
自立式立看板(ベース、ウエイト等含む)			
1,800×900/脚300	1基	¥18,000	¥19,800
自立式立札(ベース、ウエイト等含む)			
450×450/脚1500	1基	¥5,000	¥5,500
垂幕(紙演路等) 横幅600～900			
3,600×900	1枚	¥12,000	¥13,200
式次第			
900×1,800	1枚	¥10,000	¥11,000
席札			
600×300	1枚	¥1,000	¥1,100
※ 予算に応じて、業者とご相談ください。			
ピアノ調律代			
リハ室(片山ピアノ)	1回	¥21,600	¥23,760
ホール(河合楽器)	1回	¥21,600	¥23,760
花関係(花工房紹介の場合) 標準金額。中身応談。			
豊活け			
演出脇	1壺	¥10,000	¥11,000
生花スタンド			
表示あり・なし	1台	¥10,000	¥11,000
※ 予算に応じて、業者とご相談ください。			





(1) 利用料金収入の確保、経費削減についての取組み

経費削減

利用者が快適に施設利用できるよう適切なサービス水準を維持しながら、常に業務の改善・効率化と運営費等の削減を図ります。特に昨今の地球温暖化による猛暑日の増加は、燃料価格高騰と相まって光熱水費を押し上げる要因となっています。どのように「利用者の快適さ」「経費削減」のバランスをとっていくのかが大きな課題です。

・人件費削減 効率的な人的体制の構築による削減

適正な業務遂行を行うための多様な雇用形態

- ・質の高いスタッフの確保・登用
- ・ホールマネージャーを中心としスタッフ間連携や兼務等、最大限に効率化した管理運営体制をとる
- ・事業・営業・広報・技術等の一体的運営

・光熱水費等削減 効率的な光熱水使用による削減

利用者の快適さとエネルギー削減とのバランスを追求

- ・冷暖房使用時間の管理を徹底しエネルギー使用を効率化
- ・電力デマンド監視－管理事務所との緊密な連携
- ・夏季のリハーサル室のカーテンの閉鎖と給湯装置の断電
- ・クールビズ・ウォームビズによる冷暖房の節約
- ・LED化による電気料の削減（LEDライトを積極的に使用）

・備品等削減 効率的な備品使用による削減

適正な備品の使用、無駄のない購入管理

- ・備品、消耗品の適切な管理
- ・物品等を廃棄する時は資源として適切に処理
- ・LAN環境（データ共有）やデジタルツールを活用したペーパーレス化、デジタル化

・施設維持管理削減 効率的な施設維持管理による削減

こまめな点検による維持管理費削減

- ・舞台設備、機械設備等の日常保守点検
- ・軽易な修繕・改修の内製化
- ・委託料の見直し
- ・催事スケジュールに合わせた日常清掃による委託料の削減

新緑の音楽ホール点検表

項目	点検内容	点検結果	対応	担当者	完了日
1	舞台設備点検	○			
2	機械設備点検	○			
3	軽易な修繕・改修	○			
4	委託料の見直し	○			
5	催事スケジュールに合わせた日常清掃	○			

催事予定表と清掃パターン表

催事名	開催日時	清掃パターン
A	10月1日	1
B	10月2日	2
C	10月3日	3
D	10月4日	4
E	10月5日	5
F	10月6日	6
G	10月7日	7

催事予定表と清掃パターン表



移動観覧席椅子洗浄(240席)の内製化による委託料の削減

・事業費削減 効率的な事業の運用による削減

事業の効率的な運用の取組み

- ・他団体と連携した公演の積極的な取組み
- ・ネット環境（HP・SNS）活用による広告宣伝費の削減
- ・最小限のスタッフ・業務量で効率的に提供





4.施設の管理経費の縮減に関する事項

(2) 令和7年度～令和11年度までの収支計画(計画)

収入

(単位：千円)

項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	合計
施設利用収入	24,900	24,900	24,900	24,900	24,900	124,500
その他収入(オプション料他)	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	12,000
自主事業収入	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000
合計・・・B	29,300	29,300	29,300	29,300	29,300	146,500

支出

項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	合計
人件費	38,750	40,150	41,650	43,250	44,950	208,750
消耗品費	500	500	500	500	500	2,500
通信交通費	400	400	400	400	400	2,000
水光熱費	6,650	6,650	6,650	6,650	6,650	33,250
委託費(外部委託)	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	32,500
清掃費	(2,655)	(2,655)	(2,655)	(2,655)	(2,655)	(13,275)
舞台設備保守点検費	(1,320)	(1,320)	(1,320)	(1,320)	(1,320)	(6,600)
音響設備保守点検費	(814)	(814)	(814)	(814)	(814)	(4,070)
照明設備保守点検費	(1,210)	(1,210)	(1,210)	(1,210)	(1,210)	(6,050)
可動式客席保守点検費	(347)	(347)	(347)	(347)	(347)	(1,735)
ピアノ調律費	(154)	(154)	(154)	(154)	(154)	(770)
修繕費	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000
使用料・賃借料	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000
その他経費(オプション料含む)	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	8,500
自主事業支出	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	9,000
合計・・・A	58,300	59,700	61,200	62,800	64,500	306,500

差引

項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	合計
差引 (A) - (B)	29,000	30,400	31,900	33,500	35,200	160,000





5. 管理を安定して行う人的および物的能力に関する事項

(1) 人的能力（管理運営組織、人員配置等）

ア 管理業務を行う組織

組織体制

各業務の適正人数や配置における必須スキル・経験等について、十分な知識と経験を備えています。平成27年から現在まで、アオツサの管理運営を長年行う中で培ってきた各種関係先との連携や、各企業本社部門の支援機能を最大限に発揮することで、安定的かつ高品質な実施体制を担保します。

業務実施体制

ニュー・フェイス日本管財グループ

株式会社ニュー・フェイス

- 舞台運営・進行
- 舞台・音響・照明操作
- 自主事業企画・演出

日本管財株式会社

- 施設維持管理・経理事務
- 利用促進・営業
- 広報・安全衛生管理

総括責任者 1名

- ・施設管理運営総括責任者
- ・県や関係団体との連携業務
- ・各部門マネージメント業務

ホールマネージャー 1名 (副統括責任者)

- ・現場統括責任者
- ・利用促進、広報業務
- ・催事コーディネート業務

サブマネージャー 1名

- ・売上管理 ・労務管理
- ・催事コーディネート業務
- ・予約管理業務

事務スタッフ 3名

- ・利用者受付業務
- ・料金徴収
- ・事務全般 ・HP、SNS管理

技術スタッフ 3名

- ・舞台設備管理・運営
- ・技術アドバイス、指導

業務支援

(株)ニュー・フェイス

本社サポート部門

媒体関係の広報業務、舞台応援人員、自主事業の企画・運営など

日本管財(株)

技術支援 EMセンター

一級建築士事務所、各種診断、長期修繕計画立案・見直し、エネルギーマネジメントなど

発注先管理 発注センター

発注管理専門部署、集中購買によるコストダウン、発注先品質管理、安全衛生協会開催など

品質管理 品質管理センター

品質管理専門部署、教育・研修、巡回チェック・是正指導、業務支援、セルフモニタリングなど

コールセンター

自社管制センター、24時間365日対応、専門技術者による電話対応、緊急時駆けつけ対応など





5. 管理を安定して行う人的および物的能力に関する事項

(1) 人的能力（管理運営組織、人員配置等）

ア 管理業務を行う組織

グループの業務・責任分担

ニュー・フェイス日本管財グループ 業務区分表

大分類	業務項目	詳細	業務分担	
			ニューフェイス	日本管財
施設運営統括管理業務	1 管理責任者	・管理責任者		○
	2 施設運営統括管理業務	・施設運営統括管理業務		○
	3 計画管理業務	・予算管理業務 ・運用計画業務 ・定期保守作業計画立案業務 ・短・中・長期施設保全計画立案業務 ・教育研修計画立案業務 ・施設管理に関する提案業務 ・自衛消防訓練計画立案業務 ・各部門マネジメント業務	○	○
	4 企画立案・運営業務	・自主事業企画立案／運営業務 ・共催事業企画立案／運営業務 ・協賛事業企画立案／運営業務	○	○
	5 各種団体との連絡調整業務	・県との連絡調整業務 ・関係部署との連絡調整業務 ・出入業者との連絡調整業務 ・清掃管理業者との連絡調整業務 ・警備保安業者との連絡調整業務 ・その他緊急連絡、苦情処理業務	○	○
	6 教育・訓練業務	・採用時教育業務 ・法定教育業務 ・地震防災及び消火などの非常緊急対応訓練業務		○
	7 台帳類の作成業務	・設備機器台帳の作成業務 ・備品台帳の作成業務 ・予約台帳の作成業務 ・各種台帳の整理・保管業務	○	○
	8 届出・記録・保管業務	・各種届出ならびに定期保守記録等書類保管業務 ・日報、その他各種記録保管業務	○	○
	9 マニュアル類の作成業務	・マニュアル類の作成整備業務 ・接遇マニュアルの作成業務 ・設備及び機器操作マニュアルの作成業務 ・巡視点検マニュアルの作成業務 ・緊急時対応マニュアルの作成業務	○	○
	10 日常管理業務	・日常管理業務	○	○
日常管理業務	2 利用者予約調整業務	・施設利用許可・減免・還付等受付業務 ・事前打合せ等、日程変更調整業務		○
	3 利用促進業務	・営業業務 ・施設活用促進業務		○
	4 舞台設備管理業務	・舞台設備管理業務 ・照明設備管理業務 ・音響設備管理業務	○	
	5 舞台運営業務	・舞台運営に関する催事前打合せ業務 ・舞台運営に関する助言業務 ・舞台運営に関する技術的相談対応業務 ・舞台運営に関する資料作成 ・催事後の舞台運営に関する資料作成・保管業務 ・舞台設備運用業務 ・照明設備運用業務 ・音響設備運用業務 ・応援人員委託手配業務	○	
	6 案内・立会業務	・官公庁の立ち入り検査等の案内及び立会業務 ・施設見学者及び視察者の案内及び立会業務 ・出入業者の案内及び作業立会業務	○	○
	7 その他管理業務	・業務従事者の安全・衛生・労務管理 ・事務所内の整理・整頓及び清掃業務 ・関連資料の収集管理業務 ・備品及び消耗品の管理業務	○	○
	8 設備維持管理業務	・施設／設備／備品の日常巡視点検業務 ・施設／設備／備品の小修繕及び緊急処置業務 ・照明機器管球の交換業務	○	○
	9 広報・宣伝業務	・媒体広報・宣伝業務 ・リーフレット作成および配布業務 ・ポスター・チラシ作成および掲示・配布業務 ・各種広報誌への広報・宣伝業務 ・インターネット広報・宣伝業務	○	○
	10 庶務業務	・施設利用に関する催事前打合せ業務 ・委託チケット・駐車サービス券等販売業務 ・宅配サービス代理店業務 ・施設利用状況等、県への報告書作成業務 ・各年度の業務計画書及び収支予算書の作成・提出業務 ・管理業務に関する自己評価の作成業務 ・利用者アンケートの作成・実施・集計業務 ・施設出入者の監視業務 ・開館時の点灯及び開錠業務 ・閉館後の消灯の確認及び閉錠業務 ・関係各室の鍵保管・管理業務 ・遺失物・拾得物の受付処理業務 ・電話・窓口対応業務 ・外部業務委託先注業務 ・経理事務業務 ・施設・設備利用、オプションサービス等利用料金徴収業務 ・消耗品購入業務 ・見積書・請求書・領収書等、書類作成発行業務	○	○





5. 管理を安定して行う人的および物的能力に関する事項

(1) 人的能力（管理運営組織、人員配置等）

イ 人員配置、業務内容および勤務体制等

雇用に関する基本的な考え方

現在勤務しているスタッフ（地元および周辺地域からの採用者）は県民ホールにとって“有益な資産（人財）”に他なりません。

- ・利用者様や地域の状況を把握しているため、利用者様に安心感を与えることが出来る。
- ・業務スキルや運営のノウハウを習得済みのため、管理運営がスムーズに行える。
- ・利用者様のニーズに細やかな対応が出来る

以上の観点からスタッフの継続配置を原則とします。

また、人員の補充が必要となった場合も採用するスタッフについては **100%県民から採用**すること地元経済に貢献すると共に、地域密着型の管理運営を行います。

人員表

役職・職種	人数	担当業務	雇用形態 フレックスタイム勤務	所持資格	氏名	経験年数
統括責任者	1名	・施設管理運営総括責任者 ・県や関連団体との連携、利用促進業務、 ・各部門マネージメント業務	非常勤	・防火防災管理者 ・救命救急処置講習会受講		福井県県民ホール：10年
ホール マネージャー (副総括責任者)	1名	・総括責任者の補佐 ・ホールマネージメント業務 ・利用促進、広報業務 ・アオッサ内入居施設併用利用者対応業務 ・使用許可・減免・還付・制限等最終決定業務 ・先行予約最終決定業務 ・事業計画書、事業報告書の作成総括監修 ・防災・防火管理業務 ・自主事業等企画・立案・運営総括 ・個人情報保護責任者	常勤 週40時間 8：30～22：00	・防火防災管理者 ・救命救急処置講習会受講		福井県県民ホール ・サブマネージャー：8年 ・マネージャー：1年
ホール サブマネージャー	1名	・ホールマネージャーの補佐 ・労務管理、勤務シフト作成、経理・事務一般業務 ・売上管理 ・月報、年次報告書他各種報告書作成業務 ・利用者受付業務（使用許可・減免・還付等） ・事業計画書、事業報告書の作成業務 ・自主事業等企画・立案・運営 ・舞台機構装置・施設・設備の管理	常勤 週40時間 8：30～22：00	・防火防災管理者 ・救命救急処置講習会受講		福井市地域交流プラザ ・館長：10年 福井県県民ホール ・マネージャー：5年 ・サブマネージャー：1年
事務員	3名	・利用者受付及び打合せ業務 ・料金徴収及び金銭管理 ・客席転換業務 ・施設、設備維持管理業務 ・Web関連業務（HP更新等） ・自主事業運営業務	常勤 週40時間 8：30～22：00	・防火防災管理者 ・個人情報保護士		アオッサ管理事務所：3年 福井県県民ホール：4年 福井市地域交流プラザ：3年 福井県県民ホール：4年
技術D	1名	・舞台機構、設備安全管理と維持管理業務 ・利用時立会監督業務 ・利用相談、見学対応及び機器操作、指導統括 ・舞台、音響、照明等各点検及び報告書作成業務 ・舞台、音響、照明等の各専門的作業	常勤 週40時間 複数シフト 8：30～22：00	・舞台機構調整技能士		敦賀市文化センター：7年 プラザ萬象：7年 福井県県民ホール：3年
応援技術者	2名	・舞台機構、設備安全管理と維持管理、利用立会監督、利用相談、見学対応及び機器操作、指導 ・舞台部門での専門的作業 ・音響部門での専門的作業 ・照明部門での専門的作業	非常勤 8時間 270日 複数シフト 8：30～22：00	・電気工事士		福井県県民ホール：9年 福井県県民ホール：3年

人件費見込額

(単位：千円)

項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	合計
人件費	38,750	40,150	41,650	43,250	44,950	208,750



勤務シフト

- ・催事主催者との事前打ち合わせには、事務員と技術員どちらも必ず同席できるよう調整
- ・演出が多い催事では、技術員を多めに配置
- ・催事終了後の転換作業には人員を多く配置し、次の催事に支障がでないようにする

F/フリー
早/8:30-17:30
遅/13:00-22:00
休/休日

日曜日	1日	2月	3火	4水	5木	6金	7土	8日	9月	10火	11水	12木	13金	14土	15日	16月	17火	18水	19木	20金	21土	22日	23月	24火	25水	26木	27金	28土	29日	30月	
マネージャー	早	F	F	休	F	早	休	休	F	F	早	F	休	F	早	早	F	休	F	早	早	休	休	F	早	早	F	早	早	休	
サブマネージャー	休	早	早	遅	遅	休	早	早	遅	遅	休	早	早	早	休	早	早	早	早	早	休	休	早	早	早	早	早	早	早	早	
事務員A	早	休	休	早	遅	遅	遅	休	休	早	遅	遅	早	休	早	早	早	早	早	早	休	休	休	早	遅	遅	遅	休	休	早	早
事務員B	早	早	休	休	早	早	早	遅	休	休	早	早	早	早	休	休	早	遅	遅	遅	遅	遅	休	休	早	早	早	早	早	早	
事務員C	遅	遅	遅	休	休	早	早	早	休	休	休	休	遅	遅	遅	遅	遅	休	休	休	早	早	遅	休	休	休	遅	遅	遅	遅	
技術ディレクター	○	○	○	○	休	休	休	休	休	休	○	休	休	休	○	○	○	○	休	休	早	早	○	○	休	休	休	遅	遅	遅	
応援技術A					○				○	○		○	○									○	○						○	○	
応援技術B						○	○												○						○	○					
催事	発表会			講演会 研修会	講演会 研修会	講演会 説明会	学 学会	学 学会	学 学会		懇親会 リハ等		説明会		学 学会	学 学会	演劇会	全通 リハ等	総会		全通 懇親会 リハ等	舞 踊会	舞 踊	スポーツ イベント	懇親会		研修会	研修会	舞 踊	舞 踊	
ホール形式	S		P	P	特 S	P	P	P				S		P P	P	P		S		S	平	P	平	平				P	P		
備考	8時開館 受付	転換		8時開館	夜間 転換		8時開館	8時開館			転換		H 運営委員会	転換		8時開館	8時開館		転換		転換	転換	転換			転換					
早番人数	3	2	1	1	1	3	3	2	1	1	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	3	
遅番人数	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
勤務人数	4	3	2	2	3	4	4	3	2	2	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	4	

パターンA

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23		
マネージャー			公休																
サブマネージャー																			
事務員A																			
事務員B																			
事務員C																			
技術ディレクター																			
応援技術A																			
応援技術B																			

[illegible]



(1) 人的能力（管理運営組織、人員配置等）

ウ 県民ホールの管理に関する業務の実施能力（職員の多目的ホール運営経験、知識等）

ホールマネージャーの資質

施設運営管理を統括する「総括責任者」ならびに「ホールマネージャー」「ホールサブマネージャー」には、文化事業やホール運営において10年以上の実績と経験をもち、かつアオッサの各施設に精通した接客実務経験の豊富な人材を配置します。

このことにより県民ホール単体としてだけでなく、ビル内各施設にまたがる催事施行時などはその準備段階からコーディネーターとしての役割を担い、施設横断型で判断したうえで利用者様に効果的な助言が可能となります。

運営体制

運営管理業務全般において、当グループの代表会社である（株）ニュー・フェイスを核に、日本財（株）福井事業所およびグループの各本社機能を活用し、現場実務を効率よく実施するためにサポート体制を強化しています。

舞台技術員の資質

舞台技術部門では、各業務遂行上必要な資格および技術を有する人材を確保し、「舞台機構調整技能士資格」を有する技術者を配備します。常駐する技術ディレクター1名は、豊富な業務経験と専門技術および知識に加え、基本的な接客業ならびに利用者様の立場に立ったサービス感覚をもつ人材を配置します。また、催事の開催にあわせて、上記1名のほかに2名を非常勤にて配備し、舞台・音響・照明技術を全てカバーできる人員配置にて、各催事に対応します。特にプロジェクターを用いた演出がある際は、お客様のPCとの相性により映像トラブルが起こる可能性が高いため、対処できるよう万全な体制で備えています。

非常勤スタッフであれ、委託清掃スタッフであれ、利用者様に対しては全員が施設運営に従事する職員であるとの意識付けを行い、施設に係わる全員が施設の設置目的および運営基本方針を十分に理解し、達成使命としての全ての利用者様をお客様としてのサービス向上に努めております。

総括責任者 ホールマネージャー サブマネージャー	・文化ホール管理運営の実績 (統括責任者：10年、ホールマネージャー：9年、サブホールマネージャー：16年) ・文化事業企画実績 ・地域文化、産業文化イベント実績 ・防火・防災管理者講習
事務スタッフ	・文化ホール事務等経験実績（7年） ・受付業務、利用アドバイス実績 ・HP等情報管理実績 ・防火・防災管理者講習 ・普通救命救急講習
技術スタッフ	・文化ホール技術運営業務実績（17年） ・舞台機構調整技能士・日本照明家協会 ・電気工事士 ・低圧電気取扱業務特別講習 ・職長・安全衛生責任者 ・防火管理者 ・普通救命講習 ・足場の組立て特別講習 ・フルハーネス型墜落制止用器具特別講習





(1) 人的能力（管理運営組織、人員配置等）

エ 職員研修および人材育成方針

研修計画

質の高いサービスの提供を行うには、その担い手である人材の資質向上や人間形成が重要であります。「人材」「人財」との視点に立って、**教育・研修の仕組みづくり**を行い、**業務従事者の業務遂行能力の向上**に努めます。

接遇マナー研修

- ・スタッフは施設利用者様と接する機会が多いため、「おもてなしの心」という意識を常に持つよう、全スタッフを対象に研修・教育を徹底します。

基本マナー	身だしなみ、お辞儀、挨拶 等
言葉づかい	尊敬語、接客話法、口癖 等
電話対応	かけ方、受け方、苦情対応、応対事例 等
ビジネス文書等	メール、文書作成ポイント、頭語、結語 等
応接・訪問	案内・誘導、席次 等
その他	コミュニケーション力、報連相 等



人権・同和問題研修

- ・公共施設は様々な方が利用されます。スタッフは人権・同和問題に対する知識が必要になります。

障がい者・高齢者対応研修

- ・障がい者・高齢者の方々は一般の方が感じないところに施設の不便さ、使いづらさを感じます。杖、車いす等を実際にスタッフが体験する機会を設ける等、障がい者・高齢者対応研修を実施します。

安全意識の向上・啓発を図る研修

- ・身近で起こり得る可能性がある事故やトラブルに対応するための救命救急講習会を開催します。緊急時における初期処置や応急手当、心肺蘇生法、AED操作、救命救急等の知識取得や実技を実施し、安全意識の向上・危機管理の重要性の啓発に取り組みます。

金銭管理研修

- ・公金を取り扱う本事業における金銭の管理については、厳格な管理運用が求められます。日本管財の厳格な「現金・領収書取扱いマニュアル」等に基づき、適正に管理・運用を実施しています。なお日本管財内部監査室が定期的に現場業務監査を行っています。

技術者研修

- | | | |
|-----------------|------------------|---|
| ●公立文化施設技術職員研修会 | ●劇場管理技術者認定研修会 | 等 |
| ●舞台機構調整技能士研修、資格 | ●音響家協会、照明家協会技術研修 | |
| ●電気工事士研修、資格 | ●高所作業研修、資格 | |

企画研修

- | | | |
|---------------|---------------|---|
| ●アートマネジメント研修会 | ●イベント管理者研修、資格 | 等 |
|---------------|---------------|---|

管理研修

- | | | |
|----------|---------|---|
| ●防火管理者研修 | ●職長教育研修 | 等 |
|----------|---------|---|





(1) 人的能力（管理運営組織、人員配置等）

オ 外部委託の方針等

基本方針

基本的な日常保守点検、移動席椅子の清掃に関してはグループ内で行います。
専門外、特殊業務に関しては、メーカーに委託します。ただし、他社であっても品質に問題がないと判断した場合、市内事業者を優先的に料金により決定します。
清掃に関しては、建物の共有部分を受託した会社に委託します。

地元企業や団体の活用

委託先を選定する際には、対象となる業務を遂行する能力、緊急対応力、経費削減の観点を重視し、選定を行います。地域活性化による地元経済への貢献を図るべく、地元県内に本社や活動拠点を有する団体を優先的に活用します。

外部委託内容

項目		頻度	実施事業者	備考
舞台設備保守点検業務		年4回以上	特殊業務のためメーカーへ委託	日常点検は自社対応
照明設備保守点検業務		年1回以上	特殊業務のためメーカーへ委託	日常点検は自社対応
音響映像設備保守点検業務	総合点検	年1回以上	特殊業務のためメーカーへ委託	日常点検は自社対応
	機能点検	年1回以上	指定管理者（内製化）	日常点検は自社対応
可動式客席保守点検業務		年1回以上	特殊業務のためメーカーへ委託	
日常清掃		利用のある都度	館全体の清掃実施業者	
定期清掃業務	管理事務室前廊下	年4回	館全体の清掃実施業者	
	移動席椅子	指定期間中に1回	指定管理者（内製化）	
	その他	年2回	館全体の清掃実施業者	
ホールピアノ保守点検		年1回以上	市内事業者	
リハ室ピアノ調律		年6回以上	市内事業者	

※外部委託した業務については報告書を提出させ、必ず県に報告いたします。





(2) 知的能力

ア 資金調達計画

当グループが作成する収支計画では、必要資金の約45%を県からの指定管理料で充当する計画になっており、この事業のための金融機関からの新たな資金調達は必要がないと考えております。ただし、収入と支出のタイムラグが発生することが考えられますので、その場合は日本管財が、自己資金にて立替え払いを行います。また、企画事業の実施にあたっては、企業からの協賛金、さまざまな団体からの補助金の導入を随時、検討します。

イ 物品等の保有または調達計画

基本協定書別表に記載されている物品に関しては、劣化・破損等のため、利用に支障の出る場合、県との協議の上、購入・調達いたします。記載されていない物品に関しては、運営管理に必要な物は当グループで保有・調達します。環境問題、光熱費の削減を提案し、舞台照明のLED化を本格的に行い（協議）、当グループが照明操作を行う場合（他業者以外）は、積極的に使用します。

ウ 保険への加入

企業包括賠償責任保険(最高30億円)による賠償責任の対応

- ・ 万一の管理業務上の過失や不具合等により、利用者様等に損害が発生した場合に備えて、1件あたり最高30億円まで補償可能な企業総合賠償責任保険に加入しています。
- ・ 最高10億円まで補償可能な個人情報専門事業者賠償責任保険にも加入しています。事業者が管理する個人情報が万一漏えいした場合の損害賠償責任や個人情報を漏えいされた本人への見舞金、新聞等への謝罪広告費用、お詫び状の郵送費用等を補償します。

□ 加入する企業包括賠償責任保険

保険種類	支払限度額
① 請負業者賠償責任保険	30億円
② 生産物賠償責任保険	30億円
③ 施設所有(管理)者賠償責任保険	30億円
④ 昇降機賠償責任保険	30億円
⑤ 受託者賠償責任保険	30億円
⑥ 自動車管理者賠償責任保険	30億円
⑦ 警備業者賠償責任保険	30億円
⑧ 専門事業者賠償責任保険（サイバープロテクター）	10億円



エ 会計処理のシステム化

会計処理システムについては、当グループの類似施設のノウハウを活かし、予約、精算の管理業務を効率的に行います。また、支払等については日本管財本社がサポートいたします。





(3) 申請者の実態

ア 同種の施設の管理運営実績

ニュー・フェイス 管理運営実績

ニュー・フェイスは県内外の施設の管理運営に携わってきています。これらの経験を生かして、利用者様のニーズにきめ細やかなサービスの提供をいたします。

同種の施設の管理運営実績

施設名	所在地	業務内容	運営期間
福井県県民ホール	福井市	指定管理者 施設運営・管理	平成27年4月～現在
敦賀市民文化センター	敦賀市	舞台運営・管理 操作業務委託・常駐	平成9年4月～現在
プラザ萬象	敦賀市	舞台運営・管理 操作業務委託・常駐	平成12年4月～現在
福井市文化会館・福井市民福祉会館	福井市	舞台運営・管理 操作業務委託・常駐	昭和61年4月～ 平成22年3月まで
福井市にぎわい交流施設（ハピリン）	福井市	舞台運営・管理 操作業務委託・常駐	平成28年～現在
加賀市文化会館	加賀市	舞台運営・管理 操作業務委託・常駐	平成21年～現在

稼働率の推移

敦賀市民文化センター

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
大ホール	26.26%	13.47%	29.77%	30.64%	36.54%
小ホール	20.20%	33.67%	34.78%	42.76%	40.86%
RH室	39.73%	35.35%	34.78%	38.38%	51.16%
和室	22.56%	15.15%	15.38%	23.23%	24.58%
練習室	55.56%	27.61%	44.48%	57.24%	50.50%

プラザ萬象

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
大ホール	49.16%	20.80%	36.54%	39.39%	44.81%
小ホール	66.44%	44.52%	46.84%	56.56%	60.02%
多目的室	30.56%	10.58%	29.23%	25.25%	32.10%
会議室1～4	82.55%	61.40%	63.78%	69.61%	77.59%
能楽堂	1.99%	0.36%	0.96%	0.67%	1.00%





(3) 申請者の実態

日本管財 管理運営実績

日本管財は全国で80件を超える豊富な指定管理施設の管理実績を有しています。平成25年7月にオープンした「ホルトホール大分」ではPFI事業及び指定管理者共に代表企業として管理運営を行っています。これらの豊富なノウハウを活用し、県民ホールの管理運営を行います。



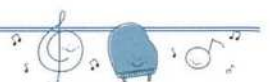
ホルトホール大分

同種の施設の管理運営実績

施設名	所在地	業務内容	運営期間
兵庫県立芸術文化センター	兵庫県西宮市	大ホール、中ホールを含む文化施設の業務委託（清掃業務）	14年（実施中）
守口文化センター	大阪府守口市	ホール、リハーサル室（音楽室）、図書室、工芸室、研修室、和室等を含む用途の維持管理業務	14年（実施中）
三田市総合文化センター	兵庫県三田市	大ホール、小ホールを含む文化施設の指定管理業務（維持管理担当）	14年（実施中）
西宮市山口ホール	兵庫県西宮市	運営管理及びホール、展示室を含む文化施設の指定管理者業務	13年（実施中）
西宮市フレンテホール	兵庫県西宮市	ホールを含む文化施設の指定管理者業務（維持管理業務）	13年（実施中）
姫路市民プラザ	兵庫県姫路市	交流センター、男女共同参画センター、市民ギャラリーを含む文化施設の指定管理者業務（維持管理業務）	13年（実施中）
神戸市立灘区民ホール	兵庫県神戸市	大ホールや会議室・音楽室・ロビー、会議室等が含まれる文化施設の指定管理者業務（施設管理業務）	12年（実施中）
岐阜県県民ふれあい会館	岐阜県岐阜市	ホール、会議室、研修室等の文化施設の指定管理者業務（施設管理業務）	10年（実施中）
ホルトホール大分	大分県大分市	大ホール、小ホール等文化施設、図書館、産業関連、福祉・健康関連施設等が含まれる複合施設の指定管理者業務	9年（実施中）
東広島芸術文化ホールくらら	広島県東広島市	大ホール、小ホール、市民ギャラリー、会議室を含む文化施設の指定管理者業務（維持管理担当）	8年（実施中）
豊中市立文化芸術センター	大阪府豊中市	大ホール、中ホール、会議室を含む文化施設の指定管理者業務（維持管理業務）	6年（実施中）
京都府立京都学歴彩館	京都府京都市	大ホール、小ホール、図書閲覧室、書庫・収蔵庫、京都学ラウンジ、展示室、学習室を含む複合用途施設の指定管理業務（維持管理業務）	6年（実施中）
瀬戸蔵ミュージアム	愛知県瀬戸市	やきもの博物館機能を備えた施設の指定管理者業務（維持管理業務）	2年（実施中）
パシフィコ横浜ノース	神奈川県横浜市	多目的ホール、会議室用途のPFI事業（維持管理業務）	2年（実施中）
出島メッセ長崎	長崎県長崎市	イベント、展示ホール、コンベンションホール、会議室等を含む複合用途施設の指定管理者業務（維持管理業務）	1年（実施中）

利用者数の推移

施設名	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
守口文化センター	182,797人	73,888人	74,193人	235,206人	296,157人
三田市総合文化センター	188,615人	66,567人	97,121人	155,977人	160,043人
西宮市フレンテホール	87,708人	35,787人	27,359人	39,878人	58,358人
神戸市立灘区民ホール	84,300人	40,999人	81,808人	89,833人	89,983人
ホルトホール大分	998,022人	455,999人	530,737人	651,237人	795,189人





(4) 申請者の安定性、信頼性

ア 提携・協力団体の状況

主に下記の団体との提携・協力体制をとっています。

提携・協力団体	内容
・全国公立文化施設協会	総会、各種研修会、情報交換会などでの情報の共有
・(社)日本照明家協会 ・(社)日本音響家協会 ・北陸舞台演出事業者協会	技術面での協力体制・情報の共有
・アオッサ管理事務所	アトリウム、備品などの使用、警備、その他協力・連携
・福井県観光連盟	全国規模の学会等の紹介、情報発信などで協力・連携
・福井市地域交流プラザ	学会での催事等での情報の共有・スペース分担などで協力・連携
・ウェルアオッサ	大ホール・リハーサル室の使用、ケータリングサービス等で協力・連携
・まちづくり福井(株)	周辺施設として催事情報の共有・スペース分担などで協力・連携

その他、下記各種団体・メディアとも提携・協力体制をとっています。

文化芸術団体	・福井県子どもNP0センター ・福井県高等学校演劇連盟 ・劇団民塾 ・ふくいアーティストクラブ ・真舞流吟舞道会 ・花柳流亀扇会 ・福井クラシック音楽同好会 ・宗生流剣詩舞道会 ・花柳流双福会
企業・団体	・福井市桜木図書館 ・福井商工会議所 ・Fスクエア ・カワイ音楽教室 ・県内ロータリークラブ ・認定こども園協会 ・福井市旭公民館 ・福井県観光連盟 ・福井市内各公民館 ・東武トップツアーズ ・県内ライオンズクラブ ・福井県年金受給者協会 ・旭地区まちづくり委員会 ・福井県消費生活センター ・トリヤマ音楽教室 ・ライトスタッフ ・福井県私立幼稚園 ・福井県税理士協会
学校	・福井大学 ・福井県立大学 ・仁愛大学 ・福井工業大学 ・北陸高校吹奏楽部 ・仁愛女子高校マーチングバンド ・福井商業高校吹奏楽部 ・啓新高校吹奏学部 ・藤島高校吹奏学部、ジャグリング部、弦楽部 ・高志高校吹奏楽部 ・報徳幼稚園 ・昭和幼稚園 ・三心円山幼稚園
周辺文化施設	・フェニックスプラザ ・ハビリンホール、ハビテラス ・UL0
福祉団体	・福井県社会福祉協議会 ・オレンジホーム
メディア	・ふくいアーティストクラブ (FAC) ・福井クラシック同好会 ・福井劇の会 ・福井新聞 ・福井放送 ・福井テレビ ・FM FUKUI ・福井ケーブルテレビ ・日刊県民福井





(4) 申請者の安定性、信頼性

イ 緊急時の対応

多様な事態（火災・事故・犯罪等）を予測した緊急連絡体制

県民ホールが設置されているアオッサでは、ビル全体に対して機械警備が設置されており、1階の防災センターにおいて24時間の監視体制が組み立てられておりますが、専有部である県民ホールの指定管理者としても、防災センターとの連携を図り、緊急対応体制を確立しております。

防犯・防災の対応策

- ・緊急対応マニュアルの作成、更新
- ・ビル全体での消防避難訓練実施への参画（年2回実施）
- ・主催責任者へ、開催前に避難経路および避難方法の説明実施 等

アオッサ全体消防計画に従い、当運営スタッフの防火管理者が県民ホールとしての消防計画を立案し、全体の防火管理組織の一端を担います。防犯対策としては、管理事務所との連携をとり、「危機管理」の徹底を図ります。

けが・急病等の対応策

- ・救急対応マニュアルの作成、更新
- ・緊急対応訓練（年2回実施、救護班の訓練）
- ・普通救急救命講習受講者の配置
- ・AED（自動体外式除細動器）による迅速救命措置

これらにより、救命に対する迅速な対応を図ります。

休館日・夜間等や災害時の対応策

- ・休館日、夜間、災害時対応マニュアルの作成、更新
- ・災害等非常時の周辺建物施設との連絡協力体制の整備
- ・24時間緊急連絡網の整備
- ・復旧マニュアルの作成、更新

アオッサビル総合管理会社と連携し、休館日、夜間、災害時の「確実な業務履行」および「安全性の確保」を図ります。

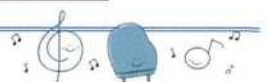
緊急時のバックアップ体制

日本管財福井事業所を拠点として現地をバックアップし、あらゆる事項へ迅速かつ的確に対応し、業務の対応能力を高めます。また、日本管財のコールセンターでは365日24時間受付を行います。事態の状況に応じて、予め定めた緊急連絡網を用い各所へ応援要請を行い、近隣協力業者および近隣在住職員を出動させます。



日本管財コールセンター

日本管財本部の技術職員が常時対応する自社コールセンターです。設備の知識と技術ノウハウのある職員が対応にあたります。





(5) 業務全般に対する取組み姿勢

ア 県民ホールの指定管理者を希望する理由

◎ 指定管理者を希望するに足る実績・ノウハウを持つこと

私どもニュー・フェイス日本管財グループは、過去10年間県民ホールの指定管理者として施設の運営管理業務に携わってまいりました。その間の実績は主催者様や利用者様からのアンケート分析において、施設運用面で非常に高い評価をご頂戴していること、また毎年行われる外部有識者による「外部評価委員会」において高評価を頂いていることに集約されていると考えます。

各種「自主事業」においては県民の皆様の交流機会をご提供しており、「ステージでピアノを弾こう！」企画は、普段なかなか体験できない舞台上でのグランドピアノ演奏という機会をご提供し、利用者アンケートにおいても「貴重な体験ができ非常に役に立った。機会があればまた是非利用したい」といったうれしく有難いご意見を頂きました。また[地域交流プラザ]で実施していたもののこれまでコロナ禍で中断していた「アオッサ寿大学」をリニューアルし、県民ホールにて開催する運びとなりました。60歳以上の皆様の健康維持と新たな学びのきっかけとなる企画として大変好評を頂いています。これらのことから『開かれた県民のための施設』という県民ホール設立趣旨に沿うものと考えております。

◎ アオッサを俯瞰的に捉え、かつ行動できるのは当グループしかいないこと

これまでのアオッサの管理運営は[ビル全体管理]や[地域交流プラザ][県民ホール]などを一つの会社が管理運営していたため、各施設間の連携が図られていました。

しかし残念なことに現在のアオッサにおいては、これら施設の管理主体が別々となってしまったがゆえに、利用者様にとっての利便性が損なわれた状態となっております。ただその中であっても、幸いなことに県民ホール職員はアオッサ各施設の経験者で構成されており、ビル自体や各施設の特長をよく理解しています。そのため[地域交流プラザ]や[アトリウム]を併用利用したいお客様には、私どもがその準備段階からコーディネーターとしての役割を果たし、効率よく利用できるよう助言などをさせていただいております。

これらのことから私どもニュー・フェイス日本管財グループが県民ホールを管理運営していくことこそが、利用者様の利便性につながりまた、ひいてはアオッサ全体の活性化に寄与するものと確信しております。





収支計画の根拠

令和7年度～令和11年度までの収支計画の根拠は下記のとおりとなります。

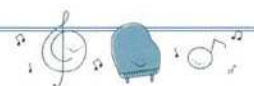
収入

収入	コロナ禍の影響を受けなくなったR4年度とR5年度の収入の平均値【¥29,300,000】を収入に計上 ※R4収入：¥27,691,978 R5収入：¥30,838,520 平均：¥29,265,249
その他収入	ホールでの飲食、看板、装飾花などの手配に伴う販売手数料やプレイガイド機能によるチケット販売手数料、舞台での追加備品・サービス（オプション）の売上などです。

支出

令和7年度の人件費は以下の表のとおりとし、舞台技術者以外は令和8年度以降、毎年6%ずつ上昇予定です。

人件費	総括責任者(非常勤)	1,930 千円
	ホールマネージャー	5,250 千円
	サブマネージャー	4,850 千円
	事務員(3名)	10,400 千円
	営業所経費(経理・労務管理)	1,350 千円
	舞台技術者(3名)	14,970 千円
消耗品	事務用品、清掃用品などです。	
水光熱費	水光熱費高騰しているR3, R4年の実績を勘案し算出しました。	
委託費 (外部委託)	清掃費	2,655 千円
	舞台設備保守点検費	1,320 千円
	音響設備保守点検費	814 千円
	照明設備保守点検費	1,210 千円
	可動式客席保守点検費	347 千円
	ピアノ調律費	154 千円
	*通常の保守はグループで行います。	
修繕費	経年劣化による修繕が予想される為実績に基づき算出しました。	
使用料・賃借料	P C、コピー機等、電話機のリース代、会場使用料などです。	
通信交通費	電話料、郵便代、ホームページ維持費など	
その他経費	オプション売上に対する経費、印紙代、各種会費、支払報酬料などです。	





6. 令和7年度～令和11年度までの収支計画

収支計画（自主事業）

令和7年～令和11年度までの収支計画（自主事業）

収入

（単位：千円）

項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	合計
自主事業収入 (会場使用料、入場料等)	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000
計・・・B	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000

支出

項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	合計
使用料 (ホール代、舞台技術料含む)	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	6,500
支払報酬・手数料公課費 (出演料、源泉徴収額)	400	400	400	400	400	2,000
印刷製・費公課費 (パンフレット、チケット印刷、郵送費)	100	100	100	100	100	500
計・・・A	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	9,000

差引利益

項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	合計
差引利益 (A) - (B)	200	200	200	200	200	1,000

